

浜松市公告第428号

浜松市の物品購入等について、下記のとおり一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6及び浜松市契約規則（昭和39年浜松市規則第31号）第4条の規定に基づき公告する。

令和8年7月3日

浜松市長 中野 祐介

記

1 一般競争入札に付する事項

- (1) 件名 消防職員用被服（活動服、救急服、救助服、航空服、防寒服）の購入について
（課名 消防総務課 契約番号 2026007198）
- (2) 数量 仕様書のとおり
- (3) 納入期限 令和8年12月25日
- (4) 納入場所 仕様書のとおり
- (5) 調達物品の特性 仕様書のとおり

2 入札及び契約担当課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2
浜松市役所財務部 調達課物品購入グループ（北館5階）
電話 053-457-2171
FAX 050-3730-3713
E-mail tyotatubuppin@city.hamamatsu.shizuoka.jp

3 一般競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

本件入札は、次に掲げる全ての要件を満たす者に限り参加できるものとする。

- (1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 入札参加資格並びに資格審査の時期及び方法に関する告示（平成20年10月1日浜松市告示第390号）の規定により、令和7・8年度の競争入札参加資格（物品 業種分類2007：衣料・洋品雑貨 又は 2029：消防・防災機器類）の認定を受けているものであること。
- (3) 浜松市物品の購入等に係る入札参加停止等措置要綱に基づく入札参加停止期間中でないこと。
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始に申立てがなされている者（更生手続開始の決定を受けている者を除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（再生手続開始の決定を受けている者を除く。）でないこと。
- (5) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）、暴力団員等（同条第6号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）及び暴力団員等と密接な関係を有する者並びにこれらの者のいずれかが役員等（無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役又はこれらに準じるべき者、支配人及び清算人をいう。）となっている法人その他の団体に該当しない者であること。
- (6) 前各号に定めるもののほか、市長が特に必要と認める資格を有していること。

4 一般競争入札参加資格の確認申請

本件入札の参加希望者は、「物品購入等入札参加資格確認申請書（一般競争）」（以下「確認申請書」という。）を提出し、参加資格の確認を受けなければならない。なお、参加資格の確認基準日は確認申請書の受付最終日とする。

(1) 提出方法

持参、郵送等（一般書留郵便、簡易書留郵便又は書留郵便と同等の信書便に限る。）、FAX又は電子メールで提出すること。

(2) 受付期間

令和8年7月6日（月）から令和8年7月21日（火）まで（提出先に必着）
（持参の場合は、17項に記載する開庁時間内に限る。）

(3) 提出先

調達課（2項に記載のとおり。）

(4) 様式

本市が指定する様式を用いること。

(5) その他

ア 確認申請書に、希望する入札参加資格の確認結果の通知方法（①調達課で受け取り、②郵送、③電子メールのいずれか一つ。詳細は5項に記載のとおり。）を記載すること。なお、郵送での通知を希望する場合は、確認申請書を提出する際に、110円切手を貼った返信用封筒を添付すること。

イ 確認申請書に、入札書の提出方法の予定（①入札執行日時に入札場所へ持参、②事前提出、③郵送等のいずれか一つ。詳細は11項に記載のとおり。）を記載すること。なお、入札書の提出方法を変更する場合又は入札書の提出を取りやめる場合は、調達課へ連絡すること。

ウ 受付期間内に確認申請書を提出しない者は、本件入札に参加することができない。

5 入札参加資格の確認結果通知

入札参加資格の確認結果は、次のとおり通知する。

(1) 通知方法

次のいずれかの方法のうち、申請者が希望する方法により通知する。なお、原則として電話連絡はしない。

ア 調達課で受け取り

イ 郵送（※郵送を希望する場合は、確認申請書を提出する際に、110円切手を貼った返信用封筒を添付すること。）

ウ 電子メール（※電子メールを希望する場合は、通知を受信するメールアドレスを確認申請書に記載すること。）

(2) 確認結果の通知日

ア 調達課で受け取りの場合

令和8年7月24日（金）午後1時から令和8年7月30日（木）までの間に、調達課で受け取ること。（17項に記載する開庁時間内に限る。）

イ 郵送又は電子メールの場合

令和8年7月24日（金）に発送又は発信する。

6 入札参加資格が無いと認められた者の理由説明要求

入札参加資格を確認した結果、入札参加資格が無いと認められた者は、本市に対しその理由について説明を求めることができる。

- (1) 要求方法
文書により説明を要求すること。また、当該文書は持参、郵送等（一般書留郵便、簡易書留郵便又は書留郵便と同等の信書便に限る。）、FAX又は電子メールで提出すること。
- (2) 要求期限
令和8年7月28日（火）まで（提出先に必着）
（持参の場合は、17項に記載する開庁時間内に限る。）
- (3) 提出先
調達課（2項に記載のとおり。）
- (4) 様式
任意の様式を用いること。
- (5) 要求への回答
説明を求められた日から2日以内に文書で行う。

7 仕様書等の提供方法

本件入札に係る契約書案、入札心得、仕様書及び業務説明書等（以下「仕様書等」という。）は、次のとおり提供する。

- (1) 提供方法
本市ホームページに掲載
- (2) 提供期間
令和8年7月3日（金）から令和8年7月30日（木）まで

8 仕様書等に対する質問

- (1) 質問方法
質問書を持参、郵送等（一般書留郵便、簡易書留郵便又は書留郵便と同等の信書便に限る。）、FAX又は電子メールで提出すること。
- (2) 受付期間
令和8年7月6日（月）から令和8年7月21日（火）午後5時まで（提出先に必着）
（持参の場合は、17項に記載する開庁時間内に限る。）
- (3) 提出先
調達課（2項に記載のとおり。）
- (4) 様式
本市が指定する様式を用いること。
- (5) 質問に対する回答
令和8年7月24日（金）から調達課において閲覧に供するとともに入札参加者全員に質問に対する回答書を提供する。

9 本件入札に関する説明会

説明会は行わない。

10 入札執行の日時及び場所

- (1) 日時 令和8年7月31日（金）午前9時30分
- (2) 場所 浜松市役所財務部調達課 入札室（北館5階）

11 入札書、入札用封筒及び郵送用封筒等の記載事項等

別紙「入札（見積合せ）の注意事項（物品購入用）」のとおり。

12 入札書の提出方法

(1) 提出方法

別紙「入札（見積合せ）の注意事項（物品購入用）」に従い、次のいずれかの方法により提出すること。

ア 入札執行日時に入札場所へ持参

イ 受領期間内に調達課へ持参（以下「事前提出」という。）

ウ 受領期限までに調達課へ郵送等（一般書留郵便、簡易書留郵便又は書留郵便と同等の信書便に限る。）

(2) 事前提出の場合の受領期間及び提出先等

ア 受領期間

令和8年7月27日（月）から令和8年7月30日（木）まで
（17項に記載する開庁時間内に限る。）

イ 提出先

調達課（2項に記載のとおり。）

(3) 郵送等の場合の受領期限及び送付先等

ア 受領期限

令和8年7月30日（木）午後5時まで（送付先に必着）

受領期限に遅れたときは、いかなる理由であっても当該入札書は無効とする。

イ 送付先

調達課（2項に記載のとおり。）

(4) 提出方法の変更及び提出の取りやめ

確認申請書に記載した入札書の提出方法の予定を変更する場合又は入札書の提出を取りやめる場合は、調達課へ連絡すること。

13 入札方法等

(1) 入札は総価で行う。落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額 100 分の 10 に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）をもって落札金額とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の 110 分の 100 に相当する金額を記載した入札書を提出すること。

(2) 入札執行回数は、原則として 2 回を限度とする。

(3) 1 回目の入札で落札者がいない場合には 2 回目の入札を実施するが、事前提出及び郵送等により提出した入札者は、2 回目の入札に参加できない。

(4) 落札となるべき同価格の入札者が 2 者以上いる場合は、当該入札者にクジを引かせて落札者を定める。事前提出及び郵送等による入札者のクジは、当該入札者の代わりに本件入札事務に関係ない本市職員が引くものとする。

(5) 事前提出及び郵送等による入札者に対しては、原則として入札執行日の午後 5 時までに入札結果を電話又はその他の方法で連絡する。

(6) 本件入札は、本件入札公告に記載する事項のほか、「浜松市物品購入等の入札執行について（入札心得）」に基づき実施するので、入札参加者は入札心得を確認の上、入札に参加すること。

14 入札の無効

浜松市契約規則第 13 条第 1 項の各号及び浜松市物品購入等に係る一般競争入札要領第 9 条各号のいずれかに該当する入札は、無効とする。

※開札前に、人的関係のある複数の者が 1 者を除き入札を辞退した場合は、残る 1 者の入札は無効とはならない。

15 入札保証金

本件入札は、入札保証金を免除する。

16 期間の計算

この公告において期間の計算をする場合で、当該期間内に浜松市の休日を定める条例（平成元年浜松市条例第 76 号）第 1 条第 1 項に規定する市の休日があるときは、当該休日を除いて計算するものとする。

17 開庁時間

午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで（土曜日、日曜日及び祝日等を除く。）

仕 様 書				
契約No	件名	2026007198 消防職員用被服(活動服、救急服、救助服、航空服、防寒服)の購入について		
業 種	2007衣料・洋品雑貨 又は 2029消防・防災機器類			
納入期限	令和8年12月25日(金)			
納入場所	・ 浜松市消防局消防総務課 浜松市中央区下池川町19番1号			
	・ 浜松市中消防署 浜松市中央区下池川町19番1号			
	・ 浜松市東消防署 浜松市中央区篠ヶ瀬町1374番地			
	・ 浜松市西消防署 浜松市中央区馬郡町4074番地の1			
	・ 浜松市南消防署 浜松市中央区森田町98番地			
	・ 浜松市北消防署 浜松市浜名区細江町三和2173番地の7			
	・ 浜松市浜北消防署 浜松市浜名区西美園58番地			
	・ 浜松市天竜消防署 浜松市天竜区二俣町二俣481番地			
・ 浜松市消防ヘリポート 浜松市浜名区四大地10番地の2				
目 的	消防職員被服貸与規則に基づき、職員へ貸与する活動服等を購入するもの			
品名規格 ・ 数 量	① 活動服上衣(冬仕様)	83着	⑱ 隊員用航空服上衣(夏仕様)	1着
	② 活動服ズボン(冬仕様)	124本	⑲ 隊員用航空服ズボン(夏仕様)	2本
	③ 活動服上衣(夏仕様)	116着	⑳ 整備士用航空服上着(冬仕様)	1本
	④ 活動服ズボン(夏仕様)	153本	㉑ 整備士用航空服ズボン(冬仕様)	1本
	⑤ 活動服名札	127枚	㉒ 整備士用航空服ズボン(夏仕様)	2本
	⑥ 救急服上衣(冬仕様)	27着	㉓ 操縦士用航空服ズボン(夏仕様)	1着
	⑦ 救急服ズボン(冬仕様)	42本	㉔ 航空服名札(隊員用)	2枚
	⑧ 救急服上衣半袖(夏仕様)	24着	㉕ 航空服名札(操縦士用)	2枚
	⑨ 救急服上衣長袖(夏仕様)	17着	㉖ バンド(活動服用)	123本
	⑩ 救急服ズボン(夏仕様)	66本	㉗ バンド(救急服用)	42本
	⑪ 救急服名札(冬仕様)	52枚	㉘ バンド(救助服用)	24本
	⑫ 救急服名札(夏仕様)	56枚	㉙ 防寒服	325着
	⑬ 救助服上衣(冬仕様)	14着		
	⑭ 救助服ズボン(冬仕様)	15本		
	⑮ 救助服上衣(夏仕様)	26着		
	⑯ 救助服ズボン(夏仕様)	34本		
	⑰ 救助服名札	43枚		
同等品	否 ----- (定義)同等品とは、規格・品質・性能等が例示品と同等以上であるものをいう。			
条 件 及び 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 納品前に検品チェックを行うこと。 ・ 納品は担当職員立会いのもと、実施すること。 ・ 契約不適合があった場合は代替品を用意すること。 ・ 規格は、別添の仕様書を参照すること。 ・ 各数量のサイズ内訳及び各納入場所への納入数は、落札業者あて別途指示する。 ・ 落札者は、契約後、速やかに「原反引受証明書」及び「品質証明書」を消防総務課に提出すること。 			
お問い合わせ先	消防局 消防総務課 財務グループ		担当 福山 和季	
	TEL	053-475-7523	FAX 050-3537-8955	

消 防 職 員 用 活 動 服
仕 様 書

浜 松 市

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用活動服（以下「活動服」という。）について定める。この活動服に使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 仕様

1 形状（別図参照）

(1) 上衣

立体的裁断及び立体的縫製、シャツ型、長袖、カフス付きとする。

本体は指定色とし、上襟縁、上襟裏、襟台内側、肩章裏、背ヨーク、胸ポケット雨蓋裏、胸ポケット袋マチ部、カフス裏、袖口水かき部にオレンジ色地で配色を施す。

(2) ズボン

立体的裁断及び立体的縫製、ウェスマン付ワンタック、脇ポケットは斜め切り替え及び雨蓋付き貼付、尻ポケットは左右片玉縁左ボタン付、前開きファスナー仕立て、ベルト通しは8本、裾口シングルとする。腰は全周ストレッチ仕様とする。

(3) 名札

表側にオレンジ色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー（凸面：表生地同系色）を縫い付ける。サイズは、縦 50 mm、横 90 mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、下段に「個人名（名字のみ）」の上下2段とする。活動服の表生地を使用すること。

2 材料

(1) 表生地

別表1のとおりとする。

(2) 縫糸（表生地と同系色とする）

ア 地縫、飾り縫はノーメックス糸 24/3 を使用する。

イ 穴かがり、ボタン付は手付け又は機械付とする。

(3) ボタン（表生地と同系色とする）

1.5 cm（肩章・尻ポケット・天狗持ち出し）及び 2 cm（脇ポケット）を使用する。

(4) 芯

接着芯とする。

(5) ファスナー（表生地と同系色とする）

YKK製又はこれと同等以上のものとし、上衣前合せ、袖口開口部、ズボン前立に使用する。

(6) 面ファスナー（表生地と同系色とする）

上衣前比翼3組、左右胸ポケット雨蓋裏2組、左胸ポケット上部消防局名及び個人名用1枚、右胸ポケット上部階級章用台座1枚、ズボン左右脇ポケット雨蓋裏4組

- (7) バックプリント
当局指定色（黒色）のシルクプリントとする。
- (8) スレーキ
ブルー
- (9) ベルト芯
白
- (10) マーベルト
腰裏、スレーキと同色
- (11) 前カン
前立 ニッケル製 1組
- (12) その他
片布、サイズ札

3 縫製

- (1) 一般
 - ア 飾り縫い
0.6 cm ミシン飾り縫いとする。
 - イ 針数（3 cm間に表面に表れた糸数）
 - (ア) 地縫い 12～14 針標準
 - (イ) 飾り縫い 12～14 針標準
 - ウ 縫製
ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、返し針を十分に行うこと。
 - エ 穴かがり
穴の大きさは、ボタンの大きさに合わせてかがり、糸が布から抜けないようにする。
 - オ ボタン付
手付けの場合は2本糸にて1つの穴に2回以上通し、3回以上根巻きをし、糸止めを完全にする。
機械付けの場合は、手付けと同程度の強度とする。
- (2) 上衣
 - ア 襟
 - (ア) 襟巾中央で4 cm、端で8.5 cm、芯を入れ周囲を地縫い返し飾りミシン縫いとし、襟台中央で3.5 cmとし、身頃と上襟を挟んだ状態で縫着し、襟付けは2条縫とし、下部の1条は裏を落とす。
 - (イ) 上襟はオレンジ色配色を縁取りとして使用し、巾1.2 cmとする（接着芯使用）。
 - (ウ) 表襟は吹きをもたせ、折返しの厚みを引かれぬ様に注意すること。

- (エ) 襟付け中央に共生地またはサテントープの襟吊り用ループ及びサイズ札を付ける。
- (オ) 上襟周囲（下部を除く。）及び襟台の周囲に飾りミシンをかける。
- (カ) 特に、襟先は大切なポイントとなるので、丁寧に仕上げること。

イ ヨーク

- (ア) オレンジ配色生地を使用し、襟付中央で 22 cm 程度の V 字ヨークを縫いつける。

ウ バックプリント

上段に「浜松市消防局」、下段に「HAMAMATSU FIRE DEPT.」と当局指定文字にて黒色のシルクプリントを入れる。

エ 肩章

肩縫い線に肩章の前側を合わせ、周囲を飾りミシン縫いし、袖付より 4 cm の位置で肩に縫い付け、その内側にクロスステッチをかけ、剣先はボタン止めとする。

オ 胸ポケット

- (ア) 胸部左右に各 1 個（角丸）、表地に縫い付けとする。
- (イ) 雨蓋（角丸）付、飾りミシン縫い、マジック 1 ヶ所止めとする。
- (ウ) 口の左右は閉止めとする。
- (エ) 袋部中央にマチを入れ、マチの両側は端ミシン縫いとする。
- (オ) 左ポケット内部のみ 5 cm 幅で中央にステッチ入り深さ 14 cm のペン差しを共生地縫い付ける。
- (カ) 左ポケット雨蓋上端中心より 1.5 cm に 3 cm のペンセクションを付ける。

カ 名札止め

左胸ポケット雨蓋より 1.5 cm 上部に、大きさは 5 cm × 9 cm の面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

キ 階級章止め

右胸ポケット雨蓋より 1.5 cm 上部に、大きさは 2.5 cm × 4 cm の階級章取り付け用面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

ク 袖

2 枚袖のカフス幅 60mm 付きとする。袖口に 2 本タックを取り、長さ約 160mm のファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きは袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

ケ 脇見頃

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm 幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖下布を上にも脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に 6mm

幅のステッチをかける。

コ 比翼

- (ア) 前合わせの開閉は、ファスナー及び面ファスナー止めとする。
- (イ) ファスナーの上端は、襟台より 1 cm 下がった位置とする。
- (ウ) 比翼止めは、2 cm×3 cm の面ファスナー 3 組にて止める。

サ 裾

巾 2 cm 三つ折り端飾り縫いとして、両端を縦に押え縫いする。

シ 片布、品質表示

- (ア) 左胸ポケット裏に当局指定のものを縫い付ける。
- (イ) 片布には、支給年度（数字のみ）を表示する。

ス エンブレム台座取り付け

当局指定の面テープのエンブレム台座（当局より支給）を、右袖付きセンターより下方 8 cm の位置を頭にして、下側中央に縫い付ける。

(3) ズボン

ア 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。天狗の上り巾は 3.5 cm とし、天狗は持ち出しボタン止めとする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 後

左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間（中心寄り）にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ 6mm 幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ 6mm 幅ステッチをかける。

ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

エ 脇ポケット

左右に口長さ 18 cm の斜め切り替え式ポケットを付ける。

袋の深さは下門より 14 cm、巾 16 cm とし、袋は地縫いと押えミシンの二重縫いとする。

オ 後ポケット

後見頃左右に口長さ 14 センチ、深さ 18 センチの型玉縁ポケットを付け、左ポケットはボタン付とする。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は門止めをする。

ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。

カ カーゴポケット

両脇に雨ボタン付アコーディオンポケットを縫い付け、口巾16cm、深さ20cmとし、雨蓋は面ファスナー2ヶ所及びループボタン止めとする。

キ 腰帯

マーベルト付きとし、幅約40mmにストレッチ芯を貼り、ウエスト全周でストレッチ性を出す事とする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

ク ベルトループ

ベルト通し幅56mm、幅20mmのものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後ろ合計8本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ケ シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

コ 裾

裾はシングル、オーバーロックのハーフ始末とする。

サ 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

ス サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

セ 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

(4) 名札

表側にオレンジ色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー(凸面:表生地同系色)を縫い付ける。サイズは、縦50mm、横90mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、下段に「個人名(名字のみ)」の上下2段とする。活動服の表生地を使用すること。

4 サイズ

(1) 別表2のとおりとする。

(2) 別表2に当てはまらない女性職員及び特注サイズの場合、採寸を実施し、仕様書に基づき作製、納品すること。

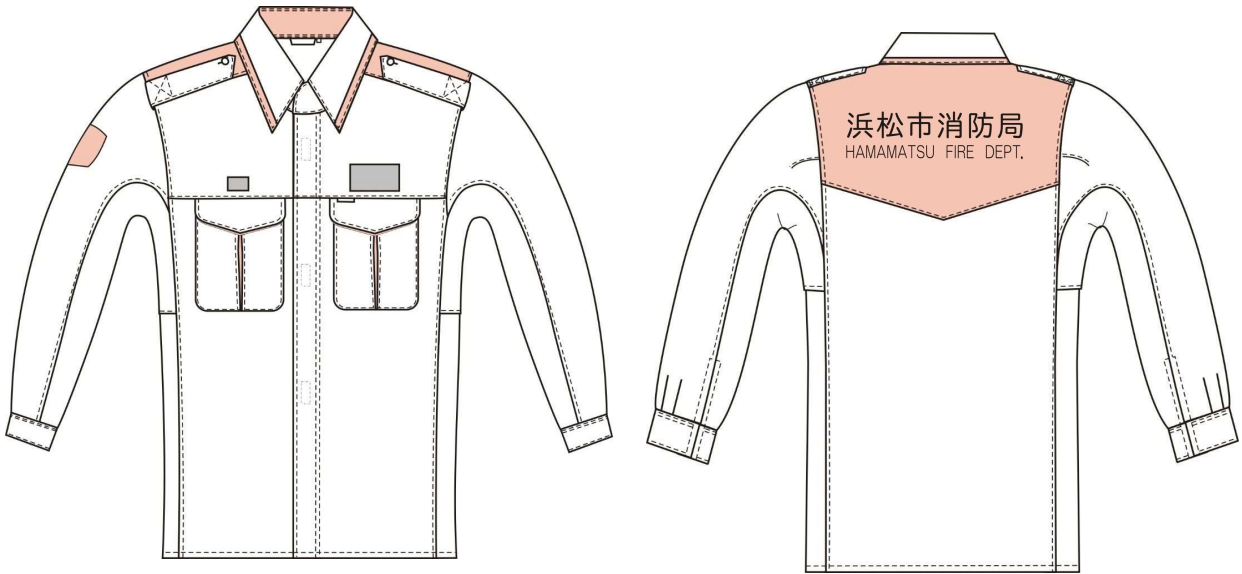
第3 補則

1 仕様及び縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈に

- よる。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
 - 3 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
 - 4 納品は糸くずなどを取り、丁寧にプレス仕上げをし、各個人ごとに1着ずつ袋に入れ納入すること。
 - 5 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

別図

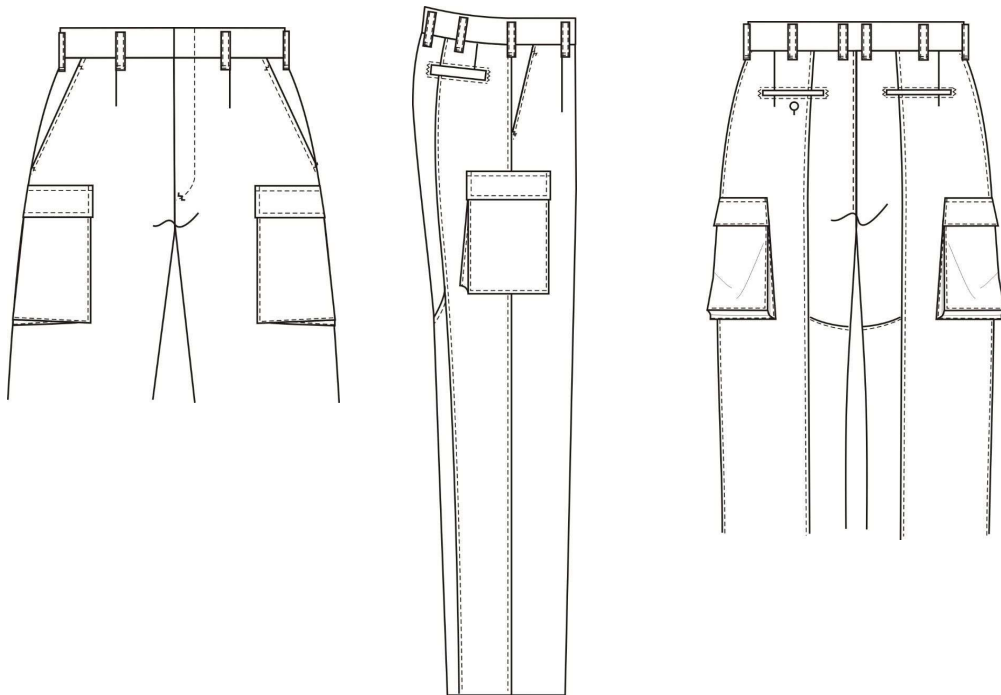
1 上衣



前面

後面

2 ズボン



前面

側面

後面

別表 1

1 表生地 (冬仕様)

(1) 上衣・ズボン

区分	規格		試験方法
品番	東レ S2412TS c/#NTB		
品名	難燃ストレッチツイル		
混紡率(%)	メタ系アラミド	73 %	JIS L 1030
	パラ系アラミド	5 %	
	難燃ポリエステル	20 %	
	ポリウレタン	2 %	
	導電性繊維使用		
使用糸番手	経 40/2	緯 40/2	JIS L 1096
	緯 40/2		
組織	2/1綾織(ツイル)		JIS L 1096
密度 (本/2.54cm)	経 80 本以上	緯 65 本以上	JIS L 1096
	緯 65 本以上		
重量(g/m ²)	200 以上		JIS L 1096
引張強力(N)	経 1400 以上		JIS L 1096
	緯 1050 以上		ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 50 以上		JIS L 1096
	緯 35 以上		ベンジュラム法
寸法変化率	経-0.5% 以下	緯-0.5% 以下	JIS L 1096
	緯-0.5% 以下		
伸長率	13 % 以上		JIS L 1096 B 法
色相	色相(H)0.9PB		JIS Z8721
	明度(V)2.9		
	彩度(C)2.7		
	変退色	汚染	
耐光堅牢度	3 級 以上	—	JIS L 0842
洗濯	4~5 級	4~5 級	JIS L 0844 A2法
汗	4~5 級	4~5 級	JIS L 0848 A 法
摩擦堅牢度(乾)	—	4~5 級	JIS L 0849 II 形
ピリング	4 級		JIS L 1076 A 法
残炎時間	0 秒		
余じん時間	1 秒		JIS L 1091 A4法
炭化距離	10 cm 以下		
LOI 値	28.0 以上		JIS K 7201 B1法
摩擦帯電電荷量	7 μ c/m ² 未満		JIS L 1094

(2) 上衣配色 (襟縁、背ヨークなど)

区 分	規 格		試 験 方 法
品 番	東レ NX4040R C/#BOR		
品 名	難燃ストレッチツイル		
混紡率(%)	メタ系アラミド	94%	JIS L 1030
	パラ系アラミド	4%	
	ポリウレタン	2%	
	導電性繊維混入		
使用糸番手	経 40/2	緯 40/2	JIS L 1096
	緯 40/2		
組 織	2/1綾織(ツイル)		JIS L 1096
密 度	経 80 本 以上		JIS L 1096
(本/2.54cm)	緯 65本 以上		
重 量(g/m ²)	200 以上		JIS L 1096
引張強力(N)	経 1300 以上		JIS L 1096
	緯 1000以上		ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 65 以上		JIS L 1096
	緯 55 以上		ベンジュラム法
寸法変化率	経 ±2.0% 以下		JIS L 1096
	緯 ±2.0% 以下		
色 相	色 相(H)	9.6R	JIS Z 8721
	明 度(V)	5.2	
	彩 度(C)	8.7	
伸 長 率	13% 以上		JIS L 1096 B 法
	変退色	汚染	
耐光堅牢度	3 級 以上	—	JIS L 0842
洗濯	4 級	4 級	JIS L 0844 A2法
汗	4 級	4 級	JIS L 0848 A 法
摩擦堅牢度(乾)	—	4 級	JIS L 0849 II 形
ピリング	4 級		JIS L 1076 A 法
残炎時間	0 秒		
余じん時間	1秒以下		JIS L 1091 A4法
炭化距離	10 cm 以下		
LOI 値	29.0 以上		JIS K 7201 B1法
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未 満		JIS L 1094

2 表生地（夏仕様）

(1) 上衣・ズボン

区分	規格		試験方法
品番	東レ S2418TS c/#NTB		
品名	難燃ストレッチトロピカル		
混紡率(%)	メタ系アラミド	73 %	JIS L 1030
	パラ系アラミド	5 %	
	難燃ポリエステル	20 %	
	ポリウレタン	2 %	
	導電性繊維使用		
使用糸番手	経 40/2		JIS L 1096
	緯 40/2		
組織	平織(トロピカル)		JIS L 1096
密度 (本/2.54cm)	経 68 本以上		JIS L 1096
	緯 52 本以上		
重量(g/m ²)	175 以上		JIS L 1096
引張強力(N)	経 1050 以上		JIS L 1096
	緯 800 以上		ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 40 以上		JIS L 1096
	緯 30 以上		ベンジュラム法
寸法変化率	経-0.5% 以下		JIS L 1096
	緯-0.5% 以下		
伸長率	13% 以上		JIS L 1096 B法
	変退色	汚染	
耐光堅牢度	3 級以上	—	JIS L 0842
洗濯	4~5 級	4~5 級	JIS L 0844 A2法
汗	4~5 級	4~5 級	JIS L 0848 A法
摩擦堅牢度(乾)	—	4~5 級	JIS L 0849 II 形
ピリング	4 級		JIS L 1076 A法
残炎時間	0 秒		
余じん時間	1 秒		JIS L 1091 A4法
炭化距離	10 cm 以下		
LOI 値	28.0 以上		JIS K 7201 B1法
摩擦帯電電荷量	7 μ c/m ² 未満		JIS L 1094

(2) 上衣配色 (襟縁、背ヨークなど)

項目	数 値		試 験 方 法
品 番	東レ NX4848R C/#BOR		
品 名	難燃ストレッチトロピカル		
混紡率(%)	メタ系アラミド	94 %	JIS L 1030
	パラ系アラミド	4 %	
	ポリウレタン	2 %	
	導電性繊維混入		
使用糸番手	経 40/2		JIS L 1096
	緯 40/2		
組 織	1/1 平織(トロピカル)		JIS L 1096
密 度 (本/2.54cm)	経 70 本 以上		JIS L 1096
	緯 50 本 以上		
重 量(g/m ²)	180 以上		JIS L 1096
引張強力(N)	経 1000 以上		JIS L 1096
	緯 750 以上		ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 55 以上		JIS L 1096
	緯 40 以上		ベンジュラム法
寸法変化率	経 ±2.0% 以下		JIS L 1096
	緯 ±2.0% 以下		
伸 長 率	15 % 以上		JIS L 1096 B 法
色 相	色相(H) 9.7R		JIS Z 8721
	明度(V) 5.2		
	彩度(C) 8.6		
	変退色	汚 染	
耐光堅牢度	3 級 以上	—	JIS L 0843
洗濯	4級以上	4級以上	JIS L 0844 A2法
汗	4級以上	4級以上	JIS L 0848 A 法
摩擦堅牢度(乾)	—	4級以上	JIS L 0849 II 形
ピリング	4 級 以上		JIS L 1076 A 法
残炎時間	0 秒		
余じん時間	1 秒 以下		JIS L 1091 A4法
炭化距離	10 cm 以下		
LOI 値	29.0 以上		JIS K 7201 B1法
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未 満		JIS L 1094

別表 2

サイズ表

(1) 上衣 (単位: cm)

許容差±1 cm

	A S	A M	A L	ALL	A3L	B S	B M	B L	BLL	B3L	B4L	B5L
バスト	100	105	110	115	120	110	115	120	125	130	140	150
胴 囲	92	97	102	107	112	107	112	117	122	127	137	147
衿 丈	75	78	81	84	87	75	78	81	84	87	88	89
肩 幅	44	46	48	50	52	48	50	52	54	56	58	60
着 丈	73	75	77	79	81	73	75	77	79	81	81	81
カラー	39	40	41	43	45	43	45	47	49	51	53	55
袖 丈	サイズ表の「衿丈」を基準に±2 cm刻みで袖丈の調整をする。											

(2) ズボン (単位: cm)

許容差±1 cm

	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	B00	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6
ウエスト	70	73	76	79	82	85	88	82	85	88	91	95	100	105	110
ヒップ	98	100	103	106	108	111	114	110	113	116	119	122	125	128	132
ワタリ	33.5	33.5	34.5	34.5	35	35.5	36.5	36.5	37	38	38	38.5	39	40	41
股 下	75 cm上がりを基準に±2 cm刻みで股下の調整をする。														

消 防 職 員 用 救 急 服
仕 様 書

浜 松 市

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用救急服（以下「救急服」という。）について定める。この救急服に使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 仕様

1 形状（別図参照）

(1) 上衣

立体縫製及び立体裁断・カッター衿型肩章付・前立て及び袖ファスナー開閉（長袖のみ）・左右胸ポケット雨蓋付、左右胸蓋付きポケット

(2) ズボン

立体縫製及び立体裁断・ワンタック・両脇ポケット・後ダーツ・左上前ファスナー開き前カン止め・後身切り替え・ベルトループ8本付・左右後片玉縁ポケット（左釦止め）・裾ルイス仕上げ

(3) 名札

表側に黒色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー（凸面：表生地同系色）を縫い付ける。サイズは、縦50mm、横90mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、下段に「個人名（名字のみ）」の上下2段とする。救命士の対応者においては、個人名の前側に「救命士」の刺繍を施す。冬救急服名札は冬救急服の表生地、盛夏救急服名札は盛夏救急服の表生地を使用すること。

2 材料

- | | |
|------------|----------------------------------------------------------------------|
| (1) 表生地 | 別表1・2・3・4のとおりとする。 |
| (2) 芯 | 衿・肩章・カフス テトロン芯（プレス接着） |
| (3) 釦 | 前立・肩章 ポリエステルたらい型 経15MM グレー色 |
| (4) 面ファスナー | 階級章止 面ファスナー（YKK色番576番）25mm×40mm
ポケット蓋止 面ファスナー（YKK色番576番）20mm×30mm |
| (5) ファスナー | YKKコイルオープンファスナー |
| (6) 本縫糸 | ポリエステル糸50番 |

3 縫製

(1) 上衣

ア 主衿

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で4.5cm（衿合巾3.5cm）衿先巾6.7cmとする。

イ 前立て

左上前見返しと身頃見返し端にファスナーを合わせ、左上前端より6mm幅ステッチをかけ、更にファスナー付けのダブルステッチを下までかける。下前端は見返しとの間にファスナーを挟み前端にコバステッチで下まで押さえる。ファスナーはムシ見せとする。前立ての

ファスナー横にマジックテープを3ヶ所取り付ける。左上前見返し側にマジックテープ（オス）、右下前にマジックテープ（メス）を付ける。

ウ 胸ポケット

胸ポケットは左右2ヶで雨ボタン付とする。雨ボタンには所定のテトロン芯を入れる。

雨ボタンは巾中央で高さ6.0cm（端部で高さ4.5cm）横14.0cm、胸ポケットは横巾13.5cm、深さ14.5cm、インダーツとする。雨蓋はマジック止めとする。（ループは不可）胸ポケットの中に内ポケットを付けること。

エ 階級章台

右胸中央上部1.5cm上にタテ2.5cmヨコ4.0cmのマジックテープを縫い付ける。

オ 脇

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続かし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖下布を上脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に6mm幅のステッチをかける。

カ 袖

2枚袖のカフス幅60mm付きとする。袖口に2本タックを取り、長さ約160mmのファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。（半袖は3つ折りとする）

キ 肩章

巾は5.0cmとし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチはしないこと肩章の先は衿付根部より2.0cm下がった位置とする。

ク ペン刺し

左胸ポケット雨ボタンの中心部から3.5cm内側に入った所に巾3.5cmのペン差しをつけ、左ポケットにも内側より口巾2.5cmのペンセクションを設ける。

ケ 背ヨーク

1枚仕立てストレートヨークとし、後部背切り替え、前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。切り替え線のヨーク側に6mm幅のステッチをかける。袖側にも6mm幅のステッチをかける。大きさは中心で約16cm（サイズにより変動）とする。

コ 片布・品質表示

所定の上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

サ 衿吊り・サイズネーム

衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

シ 裾折り返し

裾は三ツ巻き縫いとする。

ス 名札止め

着用時左胸ポケット中央上部に面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。大きさは 50 mm×90 mmとする。

セ エンブレム台座取り付け

当局指定の面テープのエンブレム台座（当局より支給）を、右袖付きセンターより下方 8 cmの位置を頭にして、下側中央に縫い付ける。

(2) ズボン

ア 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さ 160mm とし、口の上下端に閉止めをする。口にはコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ 後

左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ 6mm 幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ 6mm 幅ステッチをかける。ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

オ 後ポケット

左右後に口幅 10mm、口の長さ 145mm の片玉縁ポケットを各 1 個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は閉止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。

カ 腰帯

マーベルト付きとする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

キ ベルトループ

ベルト通し幅 60mm、長さ 20mm のものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後 2 カ所、合計 8 本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ク シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。股破れのないよう特別な処置を施す事。

ケ 裾

裾はシングル、オーバーロックのハーフ始末とする。

コ 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

ス 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

(3) 名札

表側に黒色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー（凸面：表生地同系色）を縫い付ける。サイズは、縦50mm、横90mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、下段に「個人名（名字のみ）」の上下2段とする。救命士の対応者においては、個人名の前側に「救命士」の刺繍を施す。冬救急服名札は冬救急服の表生地、盛夏救急服名札は盛夏救急服の表生地を使用すること。

4 サイズ

別表5のとおりとする。

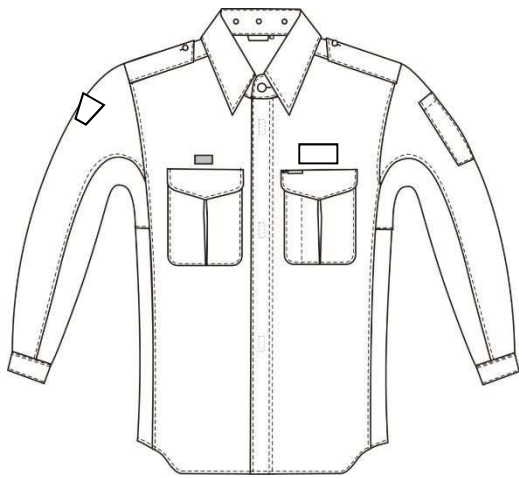
第3 補則

- 1 仕様及び縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 4 納品は糸くずなどを取り、丁寧にプレス仕上げをし、各個人ごとに1着ずつ袋に入れ納入すること。
- 5 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

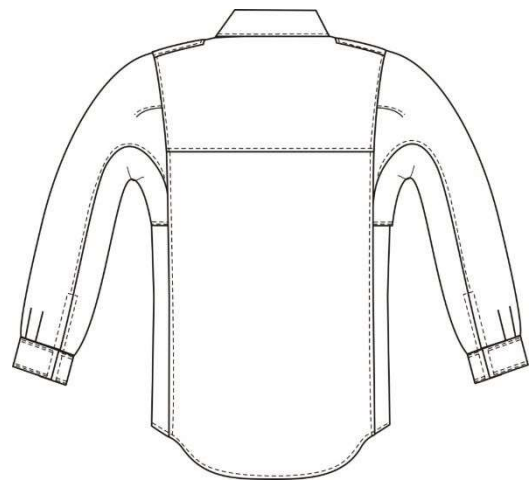
別図

1 冬救急服

(1) 上衣

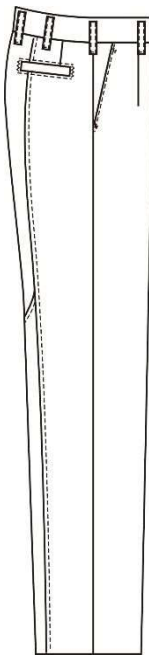


前面

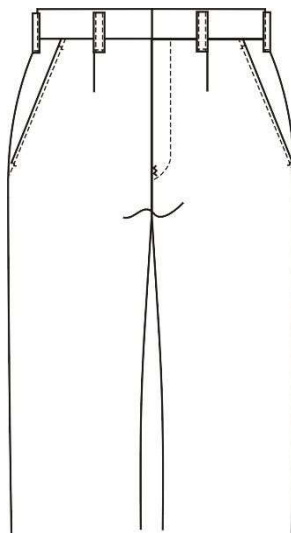


後面

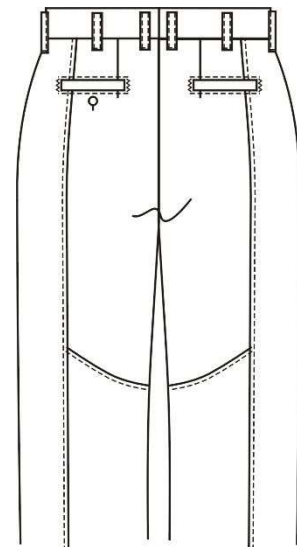
(2) ズボン



前面



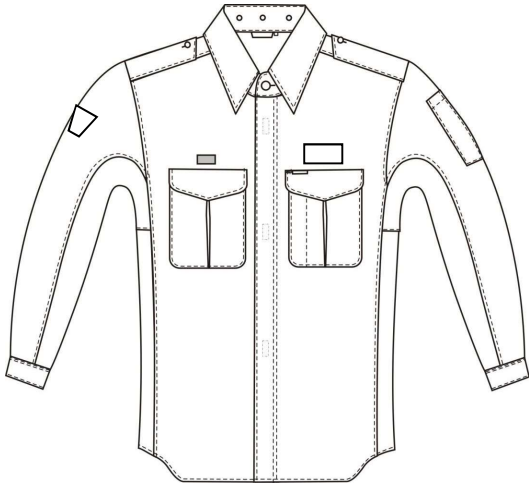
後面



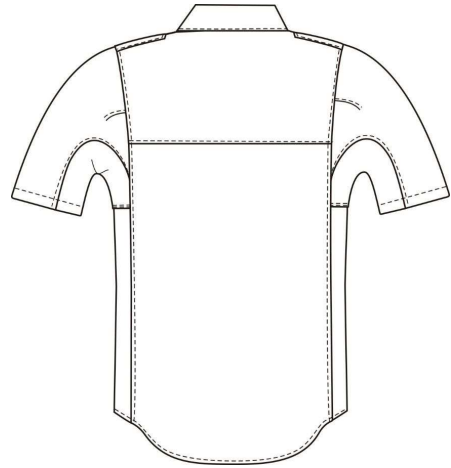
側面

2 盛夏救急服

(1) 上衣 (長袖・半袖)

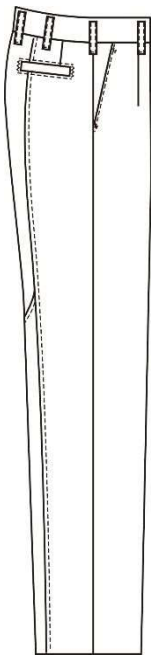


前面

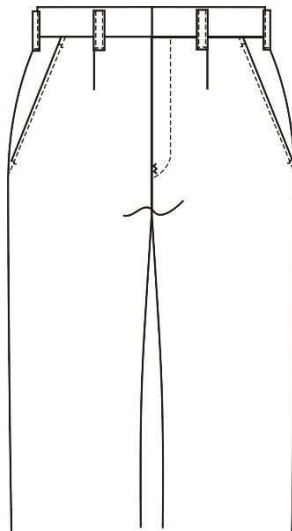


後面

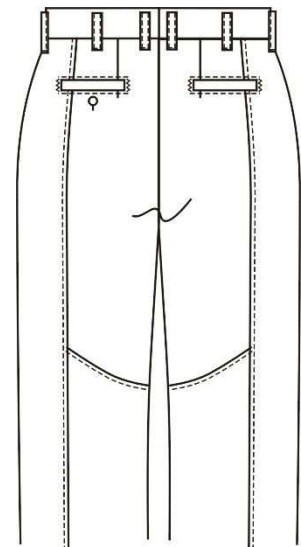
(2) ズボン



前面



後面



側面

別表 1

救急隊員用 冬服上衣

日本毛織株式会社
ユニフォーム事業本部

項 目	<SEK553> エコピッケ	試 験 方 法
1 原料混紡率	毛 15% 再生ポリエステル 84.5% 制電性繊維 0.5%	JIS L 1030(繊維混用率試験法) の正量混用率
2 番 手	(経) 167dtex (緯) 2/60	JIS L 1096(一般織物試験方法) の8.8.1番手による
3 組 織	ピッケ織	同 8.1.1組織による
4 仕上幅 (耳共)	1, 525 mm以上	同 8.2幅による
5 仕上重量	186 g/m ² 以上	同 8.4単位面積当たりの 質量による
6 仕上密度 (10cm間)	(経) 467本以上 (緯) 286本以上	同 8.6密度による
7 寸法変化率	(経) ±3%以内 (緯) ±3%以内	同 8.64.4(織物寸法変化)の C法
8 色 相	提示見本とおり	
9 色 堅 牢 度	1) 汗試験 酸 アルカリ	4級以上 4級以上 JIS L 0848(汗に対する 色堅牢度試験方法)
	2) 洗濯試験	4級以上 JIS L 0844(洗濯に対する 染色堅牢度試験方法)の A-1法
	3) 摩擦試験	4級以上 JIS L 0849(摩擦に対する 染色堅牢度試験方法)の 摩擦試験機II形
	4) 耐光試験	4級以上 JIS L 0842(カーボンアーク灯光 に対する染色堅牢度試験方法) 照射 40時間
10 強 力	(経) 1380 N以上 (緯) 1010 N以上	JIS L 1096(一般織物試験方法) 8.12引張強さによる
11 ピ リ ン グ	4級以上	JIS L1096 10時間
12 そ の 他	強撥水・防汚加工・制菌加工	

別表 2

救急隊員用 冬服ズボン

日本毛織株式会社
ユニフォーム事業本部

項 目	<SEK551> 先染エコサキソニー	試 験 方 法	
1 原料混紡率	毛 30% 再生ポリエステル 69.5% 制電性繊維 0.5%	JIS L 1030(繊維混用率試験法)の正量混用率	
2 番 手	(経) 2/52 (緯) 2/52	JIS L 1096(一般織物試験方法)の8.8.1番手による	
3 組 織	2/2 綾織	同 8.1.1組織による	
4 仕上幅(耳共)	1,525 mm以上	同 8.2幅による	
5 仕上重量	228 g/m ² 以上	同 8.4単位面積当たりの質量による	
6 仕上密度(10cm間)	(経) 280本以上 (緯) 257本以上	同 8.6密度による	
7 寸法変化率	(経) ±2%以内 (緯) ±2%以内	同 8.64.4(織物寸法変化)のC法	
8 色 相	提示見本とおおり		
9 色 堅 牢 度	1) 汗試験 酸 アルカリ	4 級以上 4 級以上	JIS L 0848(汗に対する色堅牢度試験方法)
	2) 洗濯試験	4 級以上	JIS L 0844(洗濯に対する染色堅牢度試験方法)のA-1法
	3) 摩擦試験	4 級以上	JIS L 0849(摩擦に対する染色堅牢度試験方法)の摩擦試験機II形
	4) 耐光試験	4 級以上	JIS L 0842(カーボンアーク灯光に対する染色堅牢度試験方法)照射 40時間
10 強 力	(経) 1090 N以上 (緯) 987 N以上	JIS L 1096(一般織物試験方法)8.12引張強さによる	
11 ピ リ ン グ	4 級以上	JIS L1096 10時間	
12 そ の 他	強撥水・防汚加工・制菌加工		

別表 3

救急隊員用 夏服上衣

生地規格表			
東レ 21593			
項目	数 値		試験方法
混紡率(%)	ポリエステル 95%(±5%)		JIS L 1030
	キュプラ 5%(±5%)		
	導電性繊維使用		
見掛織度	表 ポリエステル 84 Dtex(±5%)		JIS L 1018
	裏 ポリエステル 84 Dtex(±5%)		
	キュプラ 120 Dtex(±5%)		
組 織	トリコット		JIS L 1096
仕 上 げ 密 度	ウエル 25/インチ間		JIS L 1018
	コース 30/インチ間		
目 付	140 g/m ² 以上		JIS L 1018
	変退色	汚染	
耐光堅牢度	4級 以上	—	JIS L 0842
洗濯	4級 以上	4級 以上	JIS L 0844 A2法
汗	4級 以上	4級 以上	JIS L 0848 A法
摩擦(乾燥)	4級 以上		JIS L 0849 II形
ピリング	4級		JIS L 1076 A法
特殊加工	制菌加工		抗菌・防臭加工
付加価値	吸汗速乾		84DtexポリエステルセオR α糸
	透け防止		84Dtexポリエステルフルダル糸
	接触冷感		120Dtexキュプラ〈エラクールBB〉

別表 4

救急隊員用 夏服ズボン

日本毛織株式会社
ユニフォーム事業本部

項 目	<SEK552> 先染エコトロピカル	試 験 方 法	
1 原料混紡率	毛 30% 再生ポリエステル 69.5% 制電性繊維 0.5%	JIS L 1030(繊維混用率試験法) の正量混用率	
2 番 手	(経) 2/40 (緯) 2/40	JIS L 1096(一般織物試験方法) の8.8.1番手による	
3 組 織	1/1 平織	同 8.1.1組織による	
4 仕上幅(耳共)	1,525 mm以上	同 8.2幅による	
5 仕上重量	185 g/m ² 以上	同 8.4単位面積当たりの 質量による	
6 仕上密度(10cm間)	(経) 175 本以上 (緯) 156 本以上	同 8.6密度による	
7 寸法変化率	(経) ±2 %以内 (緯) ±2 %以内	同 8.64.4(織物寸法変化)の C法	
8 色 相	提示見本とおり		
9 色 堅 牢 度	1) 汗試験 酸 アルカリ	4 級以上 4 級以上	JIS L 0848(汗に対する 色堅牢度試験方法)
	2) 洗濯試験	4 級以上	JIS L 0844(洗濯に対する 染色堅牢度試験方法)の A-1法
	3) 摩擦試験	3 級以上	JIS L 0849(摩擦に対する 染色堅牢度試験方法)の 摩擦試験機Ⅱ形
	4) 耐光試験	4 級以上	JIS L 0842(カーボンアーク灯光 に対する染色堅牢度試験方法) 照射 40時間
10 強 力	(経) 844 N以上 (緯) 768 N以上	JIS L 1096(一般織物試験方法) 8.12引張強さによる	
11 ピ リ ン グ	4 級以上	JIS L1096 10時間	
12 そ の 他	強撥水・防汚加工・制菌加工		

別表 5

サイズ表

(1) 上衣 (単位 : cm)

許容差±1 cm

	00号	0号	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号
活動服対応サイズ	AS	AM	AL	ALL	A3L	BM	BL	BLL	B3L	B4L	B5L
バスト	100	105	110	115	120	115	120	125	130	140	150
胸 囲	92	97	102	107	112	112	117	122	127	137	147
長袖桁丈	75	78	81	84	87	78	81	84	87	88	89
半袖桁丈	47	49	50	52	54	52	53	55	56	56	56
肩 幅	44	46	48	50	52	50	52	54	56	58	60
着 丈	73	75	77	79	81	75	77	79	81	81	81
ネック回り	39	39	40	41	42	43	45	46	48	53	55
袖 丈	サイズ表の桁丈を基準に±2cm刻みで袖丈の調整をする。										

(2) ズボン (単位 : cm)

許容差±1 cm

	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	B00	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6
ウエスト	70	73	76	79	82	85	88	82	85	88	91	95	100	105	110
ヒップ	98	100	103	106	108	111	114	110	113	116	119	122	125	128	132
ワタリ	33.5	33.5	34.5	34.5	35	35.5	36.5	36.5	37	38	38	38.5	39	40	41
股 下	75cm上がりを基準に±2cm刻みで股下の調整をする。														

消 防 職 員 用 救 助 服
仕 様 書

浜 松 市

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用救助服（以下「救助服」という。）について定める。この救助服に使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 仕様

1 形状（別図参照）

(1) 上衣

立体裁断及び立体縫製、前立てファスナー（衿先ジップアップ）、脇下ベンチレーション、裾シャツ式、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、右胸階級台面ファスナー付き、左胸名札台面ファスナー付き右袖エンブレム台面ファスナー付き、袖口ファスナー水かき付き、前・背ヨーク・肘部刺し子加工

(2) ズボン

立体裁断及び立体縫製 前立てファスナー、ベルトループ5本付き、両サイド斜めファスナー付アウトポケット、上部・膝・股下部刺し子加工

(3) 名札

表側に黒色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー（凸面：表生地同系色）を縫い付ける。サイズは、縦60mm、横90mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、下段に「救助隊 個人名（名字のみ）」の上下2段とする。救助服の表生地を使用すること。

2 材料

(1) 表生地

別表1のとおりとする。

(2) 縫糸（表生地と同系色とする）

ノーメックス糸#24/3を使用する。

(3) ボタン（表生地と同系色とする）

1.5cm（肩章）を使用する。

(4) 芯

接着芯とする。

(5) ファスナー（表生地と同系色とする）

YKK製又はこれと同等以上のものとし、上衣は前合わせ、胸ポケット口、袖口開口部、ズボンは前立、サイドポケット口に使用する。

(6) マジックテープ（表生地と同系色とする）

上衣は左胸ポケット上部に消防局（隊）名及び個人名用1枚、右胸ポケット上部に階級章台座用1枚、右袖上腕部にエンブレム用1枚。

(7) バックプリント

当局指定色（黒色）のシルクプリントとする。

- (8) 前カン
ニッケル製 1 組。
- (9) その他
片布、サイズ札、品質表示。

3 縫製

(1) 一般

ア 針数 (2.5 cm間に表面に表れた糸数)

(ア) 飾り 12 針 (標準)

(イ) 刺し 12 針 (標準)

イ 縫製

ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、返し針を十分に行うこと。

ウ 穴かがり

穴の大きさは、ボタンの大きさに合わせてかがり、糸が布から抜けないようにする。

エ ボタン付

手付けの場合は 2 本糸にて 1 つの穴に 2 回以上通し、3 回以上根巻きをし、糸止めを完全にする。機械付けの場合は、手付けと同程度の強度とする。

(2) 上衣

ア 衿

裏衿腰部分にステッチを 8 本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。

表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。裏衿側は突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護の為、ムシを見せないようにして付ける。

イ 前身頃

脇身頃ベンチレーションホール位置まで表地を 2 枚重ねし、刺し子加工する。前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約 140 mm の両玉縁ファスナー付の貼りポケットを付ける。

口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。胸ポケットファスナーは閉じて前立て側とする。表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。左胸ポケット内部の前立側に 4 cm×5 cm のペン差し用ループ (2 本用) を付けること。

エ 警笛吊り

左前身頃の裏側に警笛を収納する袋(マチ付)とそれを吊るためのループを付けること。

オ 階級章用台座

右胸ポケット雨蓋より 1.5 cm 上部に、大きさは 2.5 cm×4 cm の面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

カ エンブレム用台座

右袖の肩縫い目より 7 cm 下部に、当局指定サイズの面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

キ 名札止め

左胸ポケット雨蓋より 1.5 cm 上部に、大きさは 6 cm×9 cm の面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

ク 後身頃

後身頃は前身頃と縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。衿付位置から幅約 250 mm まで表地を 2 枚重ねし、刺し子加工する。

ケ バックプリント

上段に「浜松市消防局」、下段に「HAMAMATSU FIRE DEPT.」と当局指定文字にて黒色のシルクプリントを入れる。

コ 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール(通気口)を設ける。脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。脇身頃と袖の縫い合わせは両方袖側にダブルステッチをかける。

サ 袖

袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きはファスナー仕様とし、袖口先端まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。腕の長さにより肘の位置が変わるため、それに合わせるため標準サイズ、±3 cm の 3 種類を設けること。

シ 肘刺し子

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

ス 袖口

2 枚袖のカフス幅 60mm 付きとし、袖口に 2 本タックを取り、両玉縁にて長さ約 170mm の金属ファスナーを設ける。カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。ファスナー開き部分の内側（ファスナー下）に表地で水カキを付ける。水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末しステッチで押さえる。シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

セ 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

ソ 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

タ 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

チ 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

(3) ズボン

ア 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2ヶ所切り替え、表地2枚を重ね、刺し子加工をする。ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約40mm幅と6mm幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 膝当て

表地2枚を重ね刺し子加工し、周囲をダブルステッチで付ける。身長により膝位置が変わるため85cmハーフ、95cmハーフの2種類で膝当ての位置を対応する事。

エ 内股

前ファスナーから前切り替え線の膝上位置までの上部に刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。

オ 後

後身はウエストより尻部で切り替え刺し子加工しダブルステッチで押さえる。尻部より裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

カ ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約35mm幅のステッチをウエスト一周にかける。

キ ベルトループ

ベルトループ幅約90mm、通し幅約60mm、ループの両端にコバステッチをかける。左右の前切り替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は約0.5cm下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止めし、両角を門止めする。後中心のループ幅約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。上端は約1cm下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

ク アウトポケット

左右脇アウトポケットの幅210mm、長さ220mm、左右にマチ布を付ける。

ポケット口はファスナー開き170mmの突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。

ただしハーネスを付けた際にでも使用できるように、ポケット口は斜めとし、ファスナーは閉じて尻側とする。ポケット付け位置も上記を考慮し、ポケット底辺を膝横のハギに合わせる。四角を門止めする。

ケ 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

コ 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

サ 裾

裾はシングル・ヘム幅35mmのミシンタタキ仕上げとし、内周にゴムを入れ輪っか状に表に出す

シ 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む

ス 警告表示

右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

(4) 名札

救助服（冬仕様）の表生地（オレンジ色）を使用すること。表側に黒色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー（凸面：表生地同系色）を縫い付ける。サイズは、縦60mm、横90mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、下段に「救助隊」及び「個人名（名字のみ）」の上下2段とする。

4 サイズ

(1) 別表2のとおりとする。

(2) 別表2に当てはまらない女性職員及び特注サイズの場合、採寸を実施し、仕様書に基づき作製、納品すること。

第3 補則

- 1 仕様及び縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。

- 3 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 4 納品は糸くずなどを取り、丁寧にプレス仕上げをし、各個人ごとに1着ずつ袋に入れ納入すること。
- 5 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

別図

1 上衣

前面

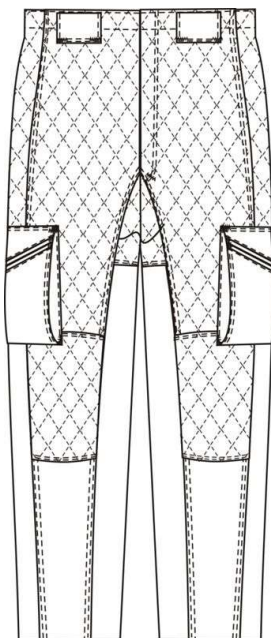


後面

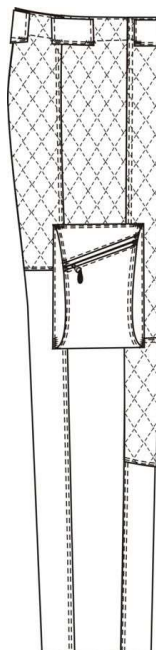


2 ズボン

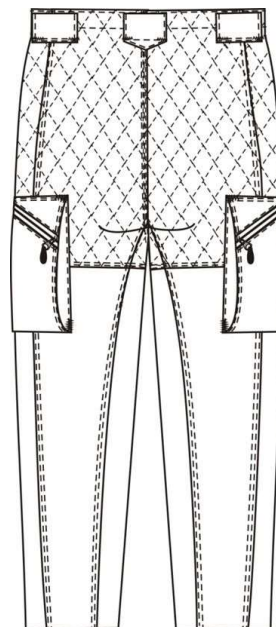
前面



側面



後面



別表 1

1 表生地 (冬仕様)

区分	規格	試験方法
品番	東レ NX4040R C/#BOR	
品名	ナフレム 難燃ストレッチツイル	
混紡率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 4% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	2/1 綾織(ツイル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)80 本以上 (緯)65 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	200 g/m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1300N 以上 (緯)1000N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)65N 以上 (緯)55N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯) ±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	13%以上	JIS L 1096 B 法
色相	オレンジ (消防局指定色) ※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3 級以上 洗濯 (変) 4 級以上 (汚) 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦 (乾) 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μc/m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 29.0 以上	JIS K7201 B1 法

2 表生地（夏仕様）

区分	規格	試験方法
品番	東レ NX4848R C/#BOR	
品名	ナフレム 難燃ストレッチトロピカル	
混紡率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 4% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	1/1 平織(トロピカル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)70 本以上 (緯)50 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	180 g /m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1000N 以上 (緯)750N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)55N 以上 (緯)40N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯) ±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	15%以上	JIS L 1096 B 法
色相	オレンジ (消防局指定色) ※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐 光 3 級以上 洗濯 (変) 4 級以上 (汚) 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦 (乾) 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c /m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm 以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 29.0 以上	JIS K7201 B1 法

別表 2

サイズ表

(1) 上衣 (単位: cm)

許容差±1 cm

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
胸 囲	97	101	105	111	117	123	129	135
衿 丈	77	79	81	84	86	89	91	94
肩 幅	42	44	46	48	50	52	54	56
着 丈	73	73	75	77	79	81	81	81
胴 囲	95	99	103	109	115	121	127	133
袖 丈	サイズ表の「衿丈」を基準に±2 cm刻みで袖丈の調整をする。							

(2) ズボン (単位: cm)

許容差±1 cm

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L	6L	7L	W115
ウエスト	71	75	79	83	87	91	95	99	105	111	115
ヒップ	96	100	104	108	112	116	120	124	130	136	140
渡り巾	32	33	34	36	37	38	40	41	43	44.5	45.5
股 上	22.5	23.5	24.5	25	26	27	28	29	29	29	29
股 下	79 cm上がりを基準に±2 cm刻みで股下の調整をする。										

消 防 職 員 用 航 空 服
仕 様 書
(航 空 隊 員 用)

浜 松 市

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用航空服（航空隊員用）（以下「航空服」という。）について定める。この航空服に使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 補則

- 1 仕様及び縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 きせかけによる出張採寸を行う場合は、消防総務課の指示に従うこと。
- 4 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 5 納品は糸くずなどを取り、丁寧にプレス仕上げをし、各個人ごとに1着ずつ袋に入れ納入すること。
- 6 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

第3 仕様

1 形状（別図参照）

(1) 上衣

立体裁断及び立体縫製、前立てファスナー、脇下ベンチレーション、裾シャツ式、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、右胸階級台面ファスナー付き、左胸名札台面ファスナー付き、右袖エンブレム付き、袖口ファスナー水かき付き、前・背ヨーク・肘部刺し子加工（配色 襟 トリミング 胸ポケット玉縁 背ヨーク）

(2) ズボン

立体裁断及び立体縫製 前立てファスナー、ベルトループ5本付き、後部左右ファスナー付きポケット、両サイドファスナー付アウトポケット、上部・膝・股下部刺し子加工
（配色 後部左右ポケット口玉縁 左右アウトポケットマチ）

(3) 名札

表側に青色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー（凸面：表生地同系色）を縫い付ける。サイズは、縦 60 mm、横 90 mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、中段に「消防航空隊」、下段に「個人名（名字のみ）」の3段とする。航空服の表生地を使用すること。

2 材料

(1) 表生地

別表1のとおりとする。

(2) 縫糸（表生地と同系色とする）

ノーメックス糸#24/3を使用する。

(3) ボタン（表生地と同系色とする）

1.5 cm（肩章）を使用する。

(4) 芯

接着芯とする。

(5) ファスナー（表生地と同系色とする）

YKK製又はこれと同等以上のものとし、上衣は前合わせ、胸ポケット口、袖口開口部、ズボンは前立、後部左右ポケット口、アウトポケット口に使用する。

(6) マジックテープ（表生地と同系色とする）

上衣は左胸ポケット上部に消防局（隊）名及び個人名用1枚、右胸ポケット上部に階級章台座用1枚

(7) 前カン

ニッケル製1組。

(8) その他

片布、サイズ札、品質表示。

3 縫製

(1) 一般

ア 針数（2.5 cm間に表面に表れた糸数）

(ア) 飾り 12針（標準）

(イ) 刺し 12針（標準）

イ 縫製

ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、返し針を十分に行うこと。

ウ 穴かがり

穴の大きさは、ボタンの大きさに合わせてかがり、糸が布から抜けないようにする。

エ ボタン付

手付けの場合は2本糸にて1つの穴に2回以上通し、3回以上根巻きをし、糸止めを完全に
する。機械付けの場合は、手付けと同程度の強度とする。

(2) 上衣

ア 衿

衿幅中央で10cm、端で9cmとし、芯を入れた折り衿とする。衿は衿腰（幅4cm）を切り返しに付け、山刺し8本以上、腰刺し5本以上とする。衿裏前面には衿立て（保護）用の共生地ループ（5cm幅）を縫い付け、面ファスナーにて調整出来るようにすること。なお、配色を縁取りとして使用し、幅1.2cmとする。

イ 前身頃

脇身頃ベンチレーションホール位置まで表地を2枚重ねし、刺し子加工する。前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約140mmの両玉縁ファスナー付の貼りポケットを付ける。口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。胸ポケットファスナーは閉じて前立て側とする。表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。玉縁には配色を施す。

エ 階級章用台座

右胸ポケット雨蓋より1.5cm上部に、大きさは2.5cm×4cmの面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

オ エンブレム取り付け

当局指定のエンブレム（当局より支給）を、右袖付きセンターより下方7cmの位置を頭にして、下側中央に縫い付ける。

カ 名札止め

左胸ポケット雨蓋より1.5cm上部に、大きさは6cm×9cmの面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

キ 後身頃

後身頃は前身頃と縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。衿付位置から幅約220mmまで表地を2枚重ねし、刺し子加工する。

ク バックプリント

背中上段に「浜松市消防局」、下段に「HAMAMATSU FIRE DEPT.」と当局指定文字にて白色の圧着プリントを入れる。

ケ 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール（通気口）を設ける。脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。脇身頃と袖の縫い合わせは両方袖側にダブルステッチをかける。

コ 袖

袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。袖開きはファスナー仕様とし、袖口先端まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

サ 肘刺し子

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

シ 袖口

2枚袖のカフス幅 60mm 付きとし、袖口に2本タックを取り、両玉縁にて長さ約 170mm の金属ファスナーを設ける。カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。ファスナー開き部分の内側（ファスナー下）に表地で水カキを付ける。水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末しステッチで押さえる。シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

袖口ファスナーカバーとして、曲線を施した L 字型の共生地を縫い付け、カバー裏に面ファスナー（凸面・表生地同系色）を縫い付け、大きさは 2.5 cm × 5 cm とする。カフスに面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付け、大きさは 2.5 cm × 5 cm とする。

ス 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

セ 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

ソ 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

タ 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

(3) ズボン

ア 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2ヶ所切り替え、表地2枚を重ね、刺し子加工をする。ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 40 mm 幅と 6 mm 幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 膝当て

表地2枚を重ね刺し子加工し、周囲をダブルステッチで付ける。身長により膝位置が変わるため 85 cm ハーフ、95 cm ハーフの2種類で膝当ての位置を対応する事。

エ 内股

前ファスナーから前切り替え線の膝上位置までの上部に刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。

オ 後

後身はウエストより尻部で切り替え刺し子加工しダブルステッチで押さえる。尻部より裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

カ ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約 35 mm 幅のステッチをウエスト一周にかける。

キ ベルトループ

ベルトループ幅約90mm、通し幅約60mm、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切り替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は約0.5cm下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止めし、両角を閉止めする。後中心のループ幅約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。上端は約1cm下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

ク アウトポケット

左右脇のズボン上端より20cm（標準）下部に、両玉縁（紺色配色）ファスナー付きポケットを表地に縫い付ける。使用部分幅約20cm、深さ約20cmとし、ポケット左右及び下部に約4cmのマチ布（紺色配色）を付ける。

ケ 尻ポケット

両玉縁（配色）ファスナー（14cm）付き切りポケットを付ける。

コ 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

サ 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

シ 裾

裾はシングル・ヘム幅35mmのミシンタタキ仕上げとし、共生地で裾タブを取り付ける。

ス 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む

セ 警告表示

右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

4 サイズ

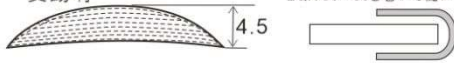
- (1) 別表2のとおりとする。
- (2) 別表2に当てはまらない女性職員及び特注サイズの場合、採寸を実施し、仕様書に基づき作製、納品すること。

別図

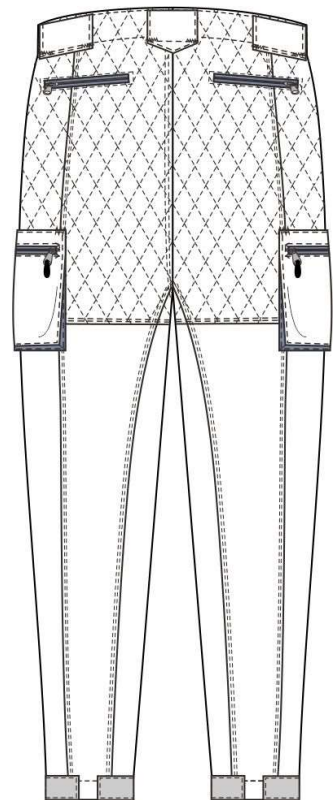
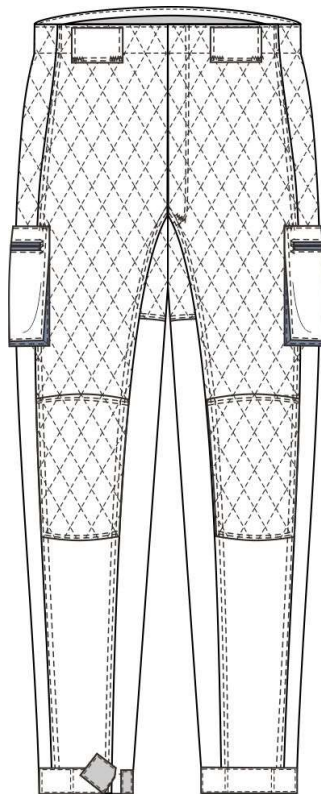
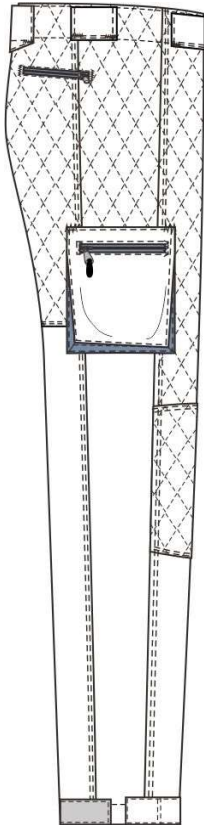
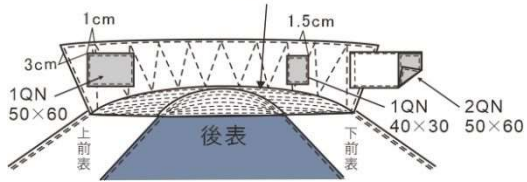


衿裏仕様

横の長さは大きさによって、
変動有



9本山ステッチ 衿腰裏布
8本ステッチ



別表 1

1 表生地 (冬仕様) 上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ NX4040R C/#BOR	
品名	ナフレム 難燃ストレッチツイル	
混紡率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 4% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	綾織(ツイル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)80 本以上 (緯)65 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	200 g/m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1300N 以上 (緯)1000N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)65N 以上 (緯)55N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯) ±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	13%以上	JIS L 1096 B 法
色相	オレンジ (消防局指定色) ※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐 光 3 級以上 洗濯 (変) 4 級以上 (汚) 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦 (乾) 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

2 配色生地（冬仕様） 上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ S2412TS C/#NTB	
品名	ナフレム 難燃ストレッチツイル	
混紡率	メタ型アラミド 74% パラ型アラミド 4% 難燃ポリエステル 20% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	綾織(ツイル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)80 本以上 (緯)65 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	200 g / m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1200N 以上 (緯)900N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)45N 以上 (緯)35N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯)±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	13%以上	JIS L 1096 B 法
色相	ブルー（消防局指定色）※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3級以上 洗濯（変） 4級以上 （汚） 4級以上 汗変褪色 4級以上 摩擦（乾） 4級以上	JIS L 0842 第3露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 1.0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

3 表生地（夏仕様）上衣 スポン

区分	規格	試験方法
品番	東レ NX4848R C/#BOR	
品名	ナフレム 難燃ストレッチトロピカル	
混紡率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 4% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	平織(トロピカル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)70 本以上 (緯)50 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	180 g/m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1000N 以上 (緯)750N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)55N 以上 (緯)40N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯) ±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	15%以上	JIS L 1096 B 法
色相	オレンジ（消防局指定色）※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3 級以上 洗濯（変） 4 級以上 （汚） 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦（乾） 4 級以上	JIS L 0842 第3露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μc/m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

4 配色生地（夏仕様）上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ S2418TS C/#NTB	
品名	ナフレム 難燃ストレッチトロピカル	
混紡率	メタ型アラミド 74% パラ型アラミド 4% 難燃ポリエステル 20% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	平織(トロピカル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)68 本以上 (緯)52 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	175 g/m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1000N 以上 (緯)700N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)40N 以上 (緯)30N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±1.0%以下 (緯)±1.0%以下	JIS L 1096
伸長率	12%以上	JIS L 1096 B 法
色相	ブルー（消防局指定色）※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3 級以上 洗濯（変） 4 級以上 （汚） 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦（乾） 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 1.0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

別表 2

サイズ表

(1) 上衣（単位：cm）

許容差±1 cm

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
胸 囲	97	101	105	111	117	123	129	135
衿 丈	77	79	81	84	86	89	91	94
肩 幅	42	44	46	48	50	52	54	56
着 丈	73	73	75	77	79	81	81	81
胴 囲	95	99	103	109	115	121	127	133
袖 丈	サイズ表の「衿丈」を基準に±2 cm刻みで袖丈の調整をする。							

(2)ズボン（単位：cm）

許容差±1 cm

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L	6L	7L	W115
ウエスト	71	75	79	83	87	91	95	99	105	111	115
ヒップ	96	100	104	108	112	116	120	124	130	136	140
渡り巾	32	33	34	36	37	38	40	41	43	44.5	45.5
股 上	22.5	23.5	24.5	25	26	27	28	29	29	29	29
股 下	79 cm上がりを基準に±2 cm刻みで股下の調整をする。										

消 防 職 員 用 航 空 服
仕 様 書
(航空整備士用)

浜 松 市

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用航空服（航空整備士用）（以下「航空服」という。）について定める。この航空服に使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 補則

- 1 仕様及び縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 きせかけによる出張採寸を行う場合は、消防総務課の指示に従うこと。
- 4 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 5 納品は糸くずなどを取り、丁寧にプレス仕上げをし、各個人ごとに1着ずつ袋に入れ納入すること。
- 6 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

第3 仕様

1 形状（別図参照）

(1) 上衣

立体裁断及び立体縫製、前立てファスナー、脇下ベンチレーション、裾シャツ式、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、右胸階級台面ファスナー付き、左胸名札台面ファスナー付き、右袖エンブレム付き、左袖ペン差し付き、袖口ファスナー水かき付き、前・背ヨーク・肘部刺し子加工（配色 襟トリミング 胸ポケット玉縁 背ヨーク）

(2) ズボン

立体裁断及び立体縫製 前立てファスナー、ベルトループ5本付き、後部左右ファスナー付きポケット、両サイドファスナー付アウトポケット、上部・膝・股下部刺し子加工
（配色 後部左右ポケット口玉縁 左右アウトポケットマチ）

(3) 名札

表側に青色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー（凸面：表生地同系色）を縫い付ける。サイズは、縦 60 mm、横 90 mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、中段に「消防航空隊」、下段に「整備士 個人名（名字のみ）」の3段とする。航空服の表生地を使用すること。

2 材料

- (1) 表生地
別表1のとおりとする。
- (2) 縫糸（表生地と同系色とする）
ノーメックス糸#24/3を使用する。
- (3) ボタン（表生地と同系色とする）
1.5 cm（肩章）を使用する。
- (4) 芯
接着芯とする。
- (5) ファスナー（表生地と同系色とする）
YKK製又はこれと同等以上のものとし、上衣は前合わせ、胸ポケット口、袖口開口部、ズボンは前立、後部左右ポケット口、左右アウトポケット口に使用する。
- (6) マジックテープ（表生地と同系色とする）
上衣は左胸ポケット上部に消防局（隊）名及び個人名用1枚、右胸ポケット上部に階級章台座用1枚
- (7) 前カン
ニッケル製1組。
- (8) その他
片布、サイズ札、品質表示。

3 縫製

- (1) 一般
 - ア 針数（2.5 cm間に表面に表れた糸数）
 - (ア) 飾り 12針（標準）
 - (イ) 刺し 12針（標準）
 - イ 縫製
ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、返し針を十分に行うこと。
 - ウ 穴かがり
穴の大きさは、ボタンの大きさに合わせてかがり、糸が布から抜けないようにする。
 - エ ボタン付
手付けの場合は2本糸にて1つの穴に2回以上通し、3回以上根巻きをし、糸止めを完全に
する。機械付けの場合は、手付けと同程度の強度とする。

(2) 上衣

ア 衿

衿幅中央で10cm、端で9cmとし、芯を入れた折り衿とする。衿は衿腰（幅4cm）を切り返しに付け、山刺し8本以上、腰刺し5本以上とする。衿裏前面には衿立て（保護）用の共生地ループ（5cm幅）を縫い付け、面ファスナーにて調整出来るようにすること。なお、配色を縁取りとして使用し、幅1.2cmとする。

イ 前身頃

脇身頃ベンチレーションホール位置まで表地を2枚重ねし、刺し子加工する。前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約140mmの両玉縁ファスナー付の貼りポケットを付ける。口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。胸ポケットファスナーは閉じて前立て側とする。表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。玉縁には配色を施す。

エ 階級章用台座

右胸ポケット雨蓋より1.5cm上部に、大きさは2.5cm×4cmの面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

オ エンブレム取り付け

当局指定のエンブレム（当局より支給）を、右袖付きセンターより下方7cmの位置を頭にして、下側中央に縫い付ける。

カ 名札止め

左胸ポケット雨蓋より1.5cm上部に、大きさは6cm×9cmの面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

キ ペン差し

左袖付きセンターより下方6cmの位置に雨蓋付きのペン挿しポケットを付ける。雨蓋は7.5cm×6cm、ポケットは15cm×5cmとし、ポケット中央にて縦方向にステッチを施す。雨蓋裏に面ファスナー（凸面・表生地同系色）を縫い付け、大きさは2cm×2.5cmとする。ポケット上部に面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付け、大きさは2cm×2.5cmとする。

ク 後身頃

後身頃は前身頃と縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。衿付位置から幅約220mmまで表地を2枚重ねし、刺し子加工する。

コ バックプリント

背中上段に「浜松市消防局」、下段に「HAMAMATSU FIRE DEPT.」と当局指定文字にて白色の圧着プリントを入れる。

サ 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール（通気口）を設ける。脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。脇身頃と袖の

縫い合わせは両方袖側にダブルステッチをかける。

シ 袖

袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きはファスナー仕様とし、袖口先端まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

ス 肘刺し子

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

セ 袖口

2枚袖のカフス幅 60mm 付きとし、袖口に 2本タックを取り、両玉縁にて長さ約 170mm の金属ファスナーを設ける。カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。ファスナー開き部分の内側（ファスナー下）に表地で水カキを付ける。水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末しステッチで押さえる。シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

袖口ファスナーカバーとして、曲線を施した L 字型の共生地を縫い付け、カバー裏に面ファスナー（凸面・表生地同系色）を縫い付け、大きさは 2.5 cm × 5 cm とする。カフスに面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付け、大きさは 2.5 cm × 5 cm とする。

ソ 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

タ 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

チ 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

ツ 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

(3) ズボン

ア 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で 2ヶ所切り替え、表地 2枚を重ね、刺し子加工をする。ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 40 mm 幅と 6 mm 幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 膝当て

表地 2枚を重ね刺し子加工し、周囲をダブルステッチで付ける。身長により膝位置が変わるため 85 cm ハーフ、95 cm ハーフの 2種類で膝当ての位置を対応する事。

エ 内股

前ファスナーから前切り替え線の膝上位置までの上部に刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。

オ 後

後身はウエストより尻部で切り替え刺し子加工しダブルステッチで押さえる。尻部より裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

カ ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約35mm幅のステッチをウエスト一周にかける。

キ ベルトループ

ベルトループ幅約90mm、通し幅約60mm、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切り替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は約0.5cm下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止めし、両角を閉止めする。後中心のループ幅約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。上端は約1cm下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

ク アウトポケット

左右脇のズボン上端より20cm（標準）下部に、両玉縁（紺色配色）ファスナー付きポケットを表地に縫い付ける。使用部分幅約20cm、深さ約20cmとし、ポケット左右及び下部に約4cmのマチ布（紺色配色）を付ける。

ケ 尻ポケット

両玉縁（配色）ファスナー（14cm）付き切りポケットを付ける。

コ 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

サ 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

シ 裾

裾はシングル・ヘム幅35mmのミシンタタキ仕上げとし、共生地で裾タブを取り付ける。

ス 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む

セ 警告表示

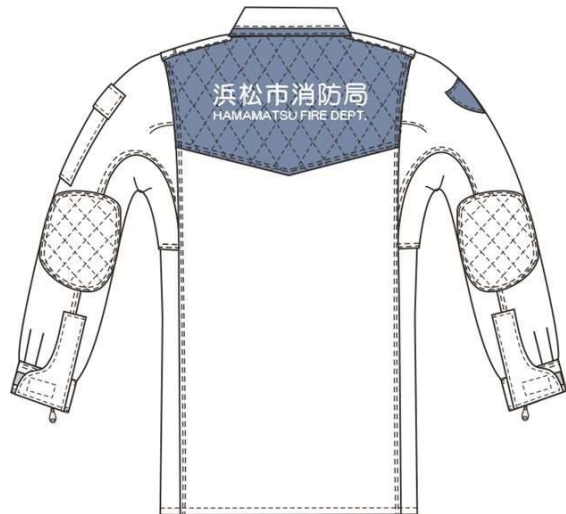
右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

4 サイズ

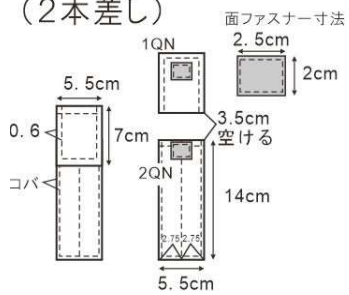
(1) 別表2のとおりとする。

(2) 別表2に当てはまらない女性職員及び特注サイズの場合、採寸を実施し、仕様書に基づき作製、納品すること。

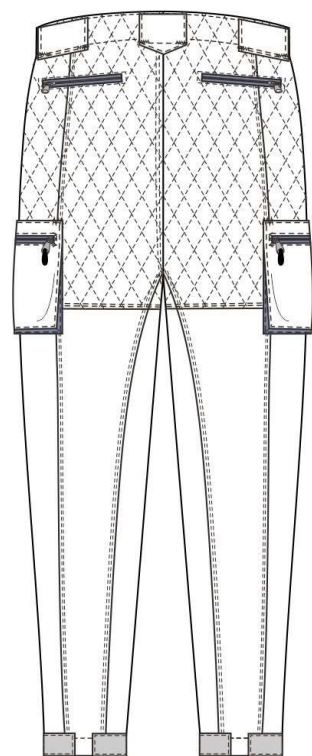
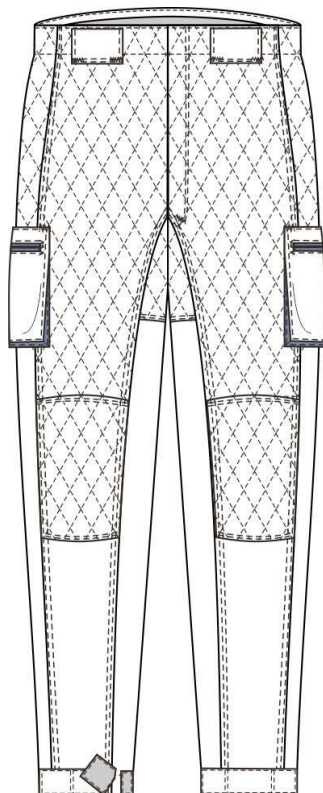
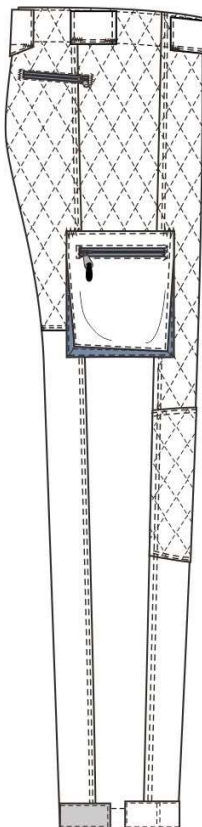
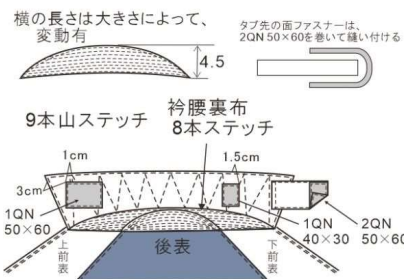
別図



雨蓋付ペン差し
(2本差し)



衿裏仕様



別表 1

1 表生地（冬仕様）上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ NX4040R C/#BOR	
品名	ナフレム 難燃ストレッチツイル	
混紡率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 4% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	綾織(ツイル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)80 本以上 (緯)65 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	200 g / m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1300N 以上 (緯)1000N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)65N 以上 (緯)55N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯) ±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	13%以上	JIS L 1096 B 法
色相	オレンジ(消防局指定色) ※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3級以上 洗濯(変) 4級以上 (汚) 4級以上 汗変褪色 4級以上 摩擦(乾) 4級以上	JIS L 0842 第3露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

2 配色生地（冬仕様） 上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ S2412TS C/#NTB	
品名	ナフレム 難燃ストレッチツイル	
混紡率	メタ型アラミド 74% パラ型アラミド 4% 難燃ポリエステル 20% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	綾織(ツイル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)80 本以上 (緯)65 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	200 g / m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1200N 以上 (緯)900N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)45N 以上 (緯)35N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯)±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	13%以上	JIS L 1096 B 法
色相	ブルー（消防局指定色）※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3 級以上 洗濯（変） 4 級以上 （汚） 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦（乾） 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 1.0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

3 表生地（夏仕様）上衣 スポン

区分	規格	試験方法
品番	東レ NX4848R C/#BOR	
品名	ナフレム 難燃ストレッチトロピカル	
混紡率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 4% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	平織(トロピカル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)70 本以上 (緯)50 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	180 g / m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1000N 以上 (緯)750N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)55N 以上 (緯)40N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯) ±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	15%以上	JIS L 1096 B 法
色相	オレンジ (消防局指定色) ※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐 光 3 級以上 洗濯 (変) 4 級以上 (汚) 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦 (乾) 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

4 配色生地（夏仕様）上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ S2418TS C/#NTB	
品名	ナフレム 難燃ストレッチトロピカル	
混紡率	メタ型アラミド 74% パラ型アラミド 4% 難燃ポリエステル 20% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	平織(トロピカル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)68 本以上 (緯)52 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	175 g/m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1000N 以上 (緯)700N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)40N 以上 (緯)30N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±1.0%以下 (緯) ±1.0%以下	JIS L 1096
伸長率	12%以上	JIS L 1096 B 法
色相	ブルー（消防局指定色）※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3 級以上 洗濯（変） 4 級以上 （汚） 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦（乾） 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 1.0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

別表 2

サイズ表

(1) 上衣（単位：cm）

許容差±1 cm

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
胸 囲	97	101	105	111	117	123	129	135
衿 丈	77	79	81	84	86	89	91	94
肩 幅	42	44	46	48	50	52	54	56
着 丈	73	73	75	77	79	81	81	81
胴 囲	95	99	103	109	115	121	127	133
袖 丈	サイズ表の「衿丈」を基準に±2 cm刻みで袖丈の調整をする。							

(2)ズボン（単位：cm）

許容差±1 cm

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L	6L	7L	W115
ウエスト	71	75	79	83	87	91	95	99	105	111	115
ヒップ	96	100	104	108	112	116	120	124	130	136	140
渡り巾	32	33	34	36	37	38	40	41	43	44.5	45.5
股 上	22.5	23.5	24.5	25	26	27	28	29	29	29	29
股 下	79 cm上がりを基準に±2 cm刻みで股下の調整をする。										

消 防 職 員 用 航 空 服
仕 様 書
(航空操縦士用)

浜 松 市

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用航空服（航空操縦士用）（以下「航空服」という。）について定める。この航空服に使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 補則

- 1 仕様及び縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 きせかけによる出張採寸を行う場合は、消防総務課の指示に従うこと。
- 4 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 5 納品は糸くずなどを取り、丁寧にプレス仕上げをし、各個人ごとに1着ずつ袋に入れ納入すること。
- 6 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

第3 仕様

1 形状（別図参照）

(1) 上衣

立体裁断及び立体縫製、前立てファスナー、脇下ベンチレーション、裾シャツ式、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、右胸階級台面ファスナー付き、左胸名札台面ファスナー付き、右袖エンブレム台面ファスナー付き、袖口ファスナー水かき付き、（配色 襟トリミング 胸ポケット玉縁 背ヨーク）

(2) ズボン

立体裁断及び立体縫製 前立てファスナー、ベルトループ5本付き、後部左右ファスナー付きポケット、裾左右ファスナー付アウトポケット
（配色 後部左右ポケット口玉縁 裾左右アウトポケットマチ）

(3) 名札

表側に青色にて刺繍を施し、裏に面ファスナー（凸面：表生地同系色）を縫い付ける。サイズは、縦60mm、横90mmとする。刺繍内容は、上段に「浜松市消防局」、中段に「消防航空隊」、下段に「操縦士 個人名（名字のみ）」の3段とする。航空服の表生地を使用すること。

2 材料

- (1) 表生地
別表1のとおりとする。
- (2) 縫糸（表生地と同系色とする）
ノーメックス糸#24/3を使用する。
- (3) ボタン（表生地と同系色とする）
1.5 cm（肩章）を使用する。
- (4) 芯
接着芯とする。
- (5) ファスナー（表生地と同系色とする）
YKK製又はこれと同等以上のものとし、上衣は前合わせ、胸ポケット口、袖口開口部、ズボンは前立、後部左右ポケット口、裾サイドポケット口に使用する。
- (6) マジックテープ（表生地と同系色とする）
上衣は左胸ポケット上部に消防局（隊）名及び個人名用1枚、右胸ポケット上部に階級章台座用1枚
- (7) 前カン
ニッケル製1組。
- (8) その他
片布、サイズ札、品質表示。

3 縫製

- (1) 一般
 - ア 針数（2.5 cm間に表面に表れた糸数）
 - (ア) 飾り 12針（標準）
 - (イ) 刺し 12針（標準）
 - イ 縫製
ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、返し針を十分に行うこと。
 - ウ 穴かがり
穴の大きさは、ボタンの大きさに合わせてかがり、糸が布から抜けないようにする。
 - エ ボタン付
手付けの場合は2本糸にて1つの穴に2回以上通し、3回以上根巻きをし、糸止めを完全に
する。機械付けの場合は、手付けと同程度の強度とする。

(2) 上衣

ア 衿

衿幅中央で10cm、端で9cmとし、芯を入れた折り衿とする。衿は衿腰（幅4cm）を切り返しに付け、山刺し8本以上、腰刺し5本以上とする。衿裏前面には衿立て（保護）用の共生地ループ（5cm幅）を縫い付け、面ファスナーにて調整出来るようにすること。なお、配色を縁取りとして使用し、幅1.2cmとする。

イ 前身頃

前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に門止めをする。袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約140mmの両玉縁ファスナー付の貼りポケットを付ける。口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。胸ポケットファスナーは閉じて前立て側とする。表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。玉縁には配色を施す。

エ 階級章用台座

右胸ポケット雨蓋より1.5cm上部に、大きさは2.5cm×4cmの面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

オ エンブレム取り付け

当局指定のエンブレム（当局より支給）を、右袖付きセンターより下方7cmの位置を頭にして、下側中央に縫い付ける。

カ 名札止め

左胸ポケット雨蓋より1.5cm上部に、大きさは6cm×9cmの面ファスナー（凹面・表生地同系色）を縫い付ける。

キ 後身頃

後身頃は前身頃と縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。背中ヨーク巾は約220mmとする。

ク バックプリント

背中上段に「浜松市消防局」、下段に「HAMAMATSU FIRE DEPT.」と当局指定文字にて白色の圧着プリントを入れる。

ケ 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール（通気口）を設ける。脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。脇身頃と袖の縫い合わせは両方袖側にダブルステッチをかける。

コ 袖

袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。袖開きはファスナー仕様とし、袖口先端まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

サ 袖口

2枚袖のカフス幅 60mm 付きとし、袖口に2本タックを取り、両玉縁にて長さ約 170mm の金属ファスナーを設ける。カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。ファスナー開き部分の内側（ファスナー下）に表地で水カキを付ける。水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末しステッチで押さえる。シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

シ 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

ス 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

セ 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

ソ 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

(3) ズボン

ア 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2ヶ所切り替え、表地2枚を重ねる。ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 40 mm 幅と 6 mm 幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 後

尻部より裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

エ ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約 35 mm 幅のステッチをウエスト一周にかける。

オ ベルトループ

ベルトループ幅約 90 mm、通し幅約 60 mm、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切り替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は約 0.5 cm 下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止めし、両角を門止めする。後中心のループ幅約 100 mm、通し幅中心で約 60 mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。上端は約 1cm 下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

カ 裾サイドポケット

左右脇のズボン上端より 20 cm（標準）下部に、両玉縁（紺色配色）ファスナー付きポケットを表地に縫い付ける。使用部分幅約 20 cm、深さ約 20 cm とし、ポケット左右及び下部に約 4 cm のマチ布（紺色配色）を付ける。

キ 尻ポケット

両玉縁（配色）ファスナー（1.4 cm）付き切りポケットを付ける。

ク 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

ケ 裾

裾はシングル・ヘム幅35mmのミシンタタキ仕上げとし、裾口の内股側にファスナー（15cm）にて開口部を設け、水かきを付ける。

コ 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む

サ 警告表示

右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

4 サイズ

(1) 別表2のとおりとする。

(2) 別表2に当てはまらない女性職員及び特注サイズの場合、採寸を実施し、仕様書に基づき作製、納品すること。

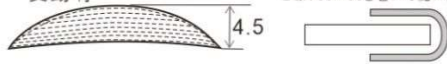
別図



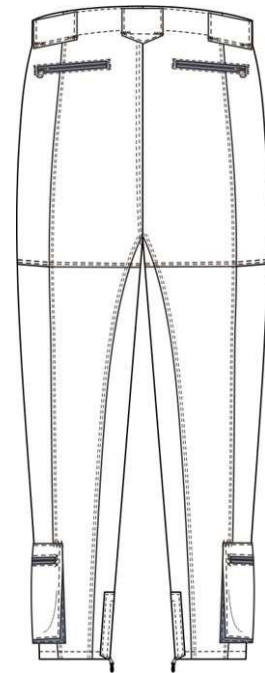
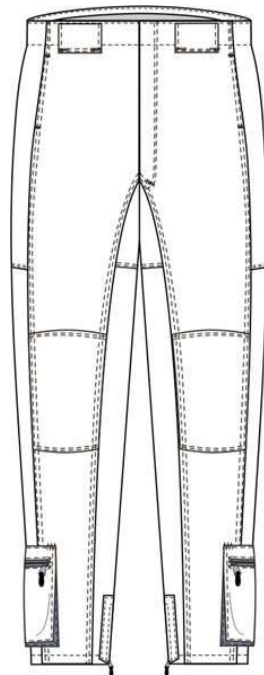
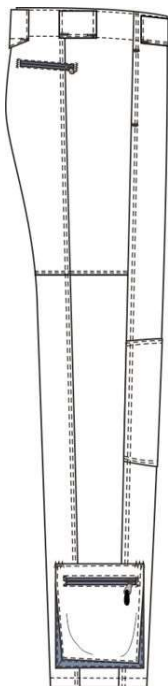
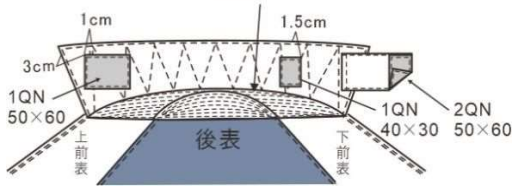
衿裏仕様

横の長さは大きさによって、
変動有

タブ先の面ファスナーは、
2QN 50×60を巻いて縫い付ける



9本山ステッチ 衿腰裏布
8本ステッチ



別表 1

1 表生地（冬仕様）上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ NX4040R C/#BOR	
品名	ナフレム 難燃ストレッチツイル	
混紡率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 4% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	綾織(ツイル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)80 本以上 (緯)65 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	200 g / m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1300N 以上 (緯)1000N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)65N 以上 (緯)55N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯) ±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	13%以上	JIS L 1096 B 法
色相	オレンジ(消防局指定色) ※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐 光 3 級以上 洗濯 (変) 4 級以上 (汚) 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦 (乾) 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

2 配色生地（冬仕様） 上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ S2412TS C/#NTB	
品名	ナフレム 難燃ストレッチツイル	
混紡率	メタ型アラミド 74% パラ型アラミド 4% 難燃ポリエステル 20% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	綾織(ツイル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)80 本以上 (緯)65 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	200 g / m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1200N 以上 (緯)900N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)45N 以上 (緯)35N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯)±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	13%以上	JIS L 1096 B 法
色相	ブルー（消防局指定色）※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3 級以上 洗濯（変） 4 級以上 （汚） 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦（乾） 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 1.0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

3 表生地（夏仕様）上衣 スポン

区分	規格	試験方法
品番	東レ NX4848R C/#BOR	
品名	ナフレム 難燃ストレッチトロピカル	
混紡率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 4% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	平織(トロピカル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)70 本以上 (緯)50 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	180 g/m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1000N 以上 (緯)750N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)55N 以上 (緯)40N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±2.0%以下 (緯) ±2.0%以下	JIS L 1096
伸長率	15%以上	JIS L 1096 B 法
色相	オレンジ (消防局指定色) ※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3 級以上 洗濯 (変) 4 級以上 (汚) 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦 (乾) 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μc/m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

4 配色生地（夏仕様）上衣 ズボン

区分	規格	試験方法
品番	東レ S2418TS C/#NTB	
品名	ナフレム 難燃ストレッチトロピカル	
混紡率	メタ型アラミド 74% パラ型アラミド 4% 難燃ポリエステル 20% ポリウレタン 2%	JIS L 1030
糸番手	(経)40/2 (緯)40/2	JIS L 1096
組織	平織(トロピカル)	JIS L 1096
仕上	標準 150 cm×50m	
密度	(経)68 本以上 (緯)52 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
重量	175 g/m ² 以上	JIS L 1096
引張強度	(経)1000N 以上 (緯)700N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	(経)40N 以上 (緯)30N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化率	(経)±1.0%以下 (緯)±1.0%以下	JIS L 1096
伸長率	12%以上	JIS L 1096 B 法
色相	ブルー（消防局指定色）※アラミドは原液着色	
染色堅牢度	耐光 3 級以上 洗濯（変） 4 級以上 （汚） 4 級以上 汗変褪色 4 級以上 摩擦（乾） 4 級以上	JIS L 0842 第3 露光法 JIS L 0844 A-2 法 " JIS L 0848 A 法 JIS L 0849 II 型
ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法
摩擦帯電電荷量	7 μ c/m ² 未満	JIS L 1094 C 法
燃焼性	残炎時間 1.0 秒以下 余じん時間 1.0 秒以下 炭化距離 10.0 cm以下	JIS L 1091 A-4 法
難燃性	限界酸素指数 28.0 以上	JIS K7201 B1 法

別表 2

サイズ表

(1) 上衣（単位：cm）

許容差±1 cm

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
胸 囲	97	101	105	111	117	123	129	135
衿 丈	77	79	81	84	86	89	91	94
肩 幅	42	44	46	48	50	52	54	56
着 丈	73	73	75	77	79	81	81	81
胴 囲	95	99	103	109	115	121	127	133
袖 丈	サイズ表の「衿丈」を基準に±2 cm刻みで袖丈の調整をする。							

(2)ズボン（単位：cm）

許容差±1 cm

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L	6L	7L	W115
ウエスト	71	75	79	83	87	91	95	99	105	111	115
ヒップ	96	100	104	108	112	116	120	124	130	136	140
渡り巾	32	33	34	36	37	38	40	41	43	44.5	45.5
股 上	22.5	23.5	24.5	25	26	27	28	29	29	29	29
股 下	79 cm上がりを基準に±2 cm刻みで股下の調整をする。										

消 防 職 員 用 バンド
(活動服用・救急服用・救助服用)
仕 様 書

浜 松 市 消 防 局

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用バンド（以下「バンド」という。）について定める。このバンドに使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 仕様

1 活動服用バンド

(1) 規格

バックル式ナイロンバンド

(2) 生地

ナイロン100%

(3) 色相

紺色

(4) バックル

バックルは、OK-40 オメガクロームメッキ処理をしたもの。

(5) 先金

先端を金属にて挟み、ナイロン地が表に出ないようにすること。

(6) アジャスター

鳩目穴の直径は0.6 cmとし、3 cm間隔で2個穴を5列開ける。

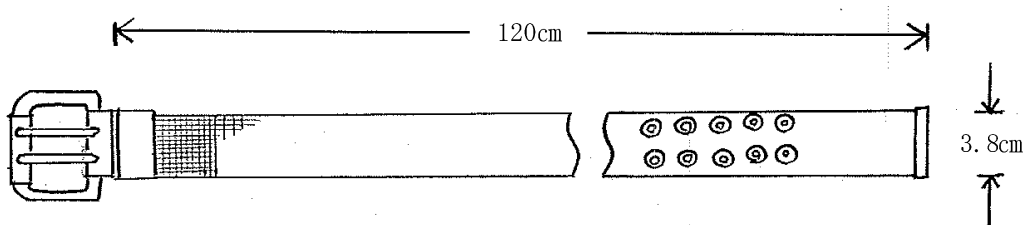
(7) 寸法

3.8 cm×120 cm

(8) 補則

バンド部とバックル部は着脱可能なものとし、後に切断によるサイズ調整が出来るものとする。

【図】



2 救急服用バンド仕様書

(1) バンド

素材：ポリエステル95%以上、反射系1～5%（平二重織芯入りタイプ）

帯幅：40mm±1mm

帯厚：2.2mm±0.4mm

色相：白

帯先：高周波 半丸カット

耐摩耗性：反射糸摩耗せず（六角棒摩擦試験）

強度：巾40mm テープ 4.4KN

(2) バックル

帆型バックル2本ピン式（サルカン部はナイロン地とする）

(3) アジャスター

鳩目穴の直径は60mmとし、30mm間隔で2個穴を7列開ける。

(4) 反射材

反射糸：ライトフォース（品番LFUY1200-FB100）

反射糸規格：巾1mm両面反射加工糸（6本使用）

輝度：401cd/1×/m²（JIS Z9117-1984による測定）

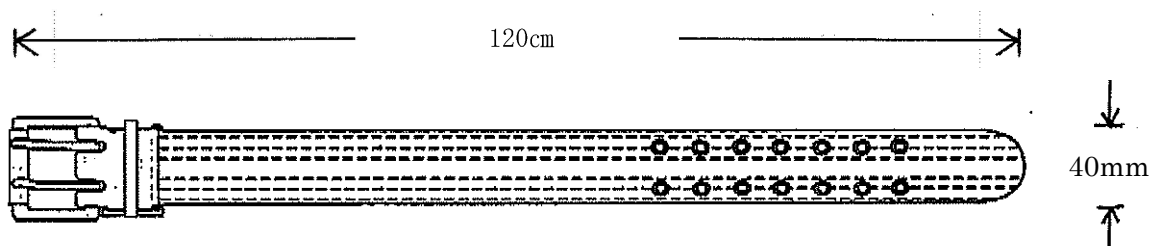
(5) サイズ

120 cm

(6) 補則

バンド部とバックル部は着脱可能なものとし、後に切断によるサイズ調整が出来るものとする。

【図】



3 救助用バンド

(1) 規格

救助服用50mmナイロン2ピンバンド

(2) 生地

ナイロン100%

(3) 色相

オレンジ

(4) バックル

2本止め 取り外し式 先ローラー付

素材：鉄

メッキ：ニッケル

(5) 帯先

高周波 半丸カット

(6) 鳩目

7個×2

素材：真鍮

(7) 寸法

50mm×1200mm（帯圧：2.5mm）

(8) サルカン

帯巾 15mm 帯厚 1.5mm 生地ナイロン 100%

(9) 織組織

織組織：平二重織

経糸：1870T 200本

カラミ糸：1870T 24本

芯糸：1870T 142本

緯糸：940T 11.5本/cm

引張強度：3,200kg以上

第3 補則

- 1 仕様及びその他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 4 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

消 防 職 員 用 防 寒 服
仕 様 書

浜 松 市

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用防寒服（以下「防寒服」という。）について必要な事項を定める。この防寒服に使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 表地規格

生地規格		試験方法
組織（基布）	平織	JIS L-1096
混用率（基布）	ポリエステル 100%	JIS L-1030
番手	縦 74dtx 以上 横 74dtx 以上	JIS L-1096
引裂強さ	縦 8N 以上 横 8N 以上	JIS L-1096 D法 ペンジュラム法
引張強さ	縦 630N 以上 横 500N 以上	JIS L-1096 A法 ラベルドストリップ法
耐水圧	初期 140kpa 以上	JIS L-1092 法（高水圧法）表面加圧、 目皿不可
透湿度	初期 15,000g/m ² /24h	JIS L-1099 B-1 法
撥水度	初期 4 級以上	JIS L-1092 スプレー試験

第3 主材料

材 料	仕様	用途
表生地	規格は第2 表地規格の通り。	本体・フード
裏生地（タフタ）	ポリエステル 100% ※肌面は黒色アルミドット加工指定	本体・フード
裏生地（中綿）	ポリエステル 100%	本体・フード
裏生地（起毛地）	ポリエステル 100%	フード収納ポケット
目貼テープ	2層のフィルムテープで 表地に適合し防水性が高いものを使用すること。	各接合部分全般
止水ファスナー	5 コイル指定	胸ポケット
ファスナー	5 コイル指定	ポケット
ゴム	丸ゴム 3 mm径 黒 平ゴム 30 mm幅 白	裾、フード 袖口
ハトメ	樹脂製ハトメ	裾
紐（ゴム）止め	Oリング 黒 コードロック・コードエンド・引手 黒	裾 裾、フード、ファスナー
紐	ナイロン製 赤 及び 黒	ファスナー引手
面ファスナー	黒	本体・フード
ブランドネーム	メーカーのもの	本体

サイズネーム	白地に黒字	本地
テープ	グログランテープ	裾

第4 型式および縫製

部位	型式および縫製
前合わせ	止水ファスナーによる開閉式であること。内側水切り布は内側へ折り返して水返し機構を持ち、上端はチンガードを兼ねること。
袖付け	セットイン式であること。
袖口	半ゴム半ベルト調節式とし、ゴムカフス部中心に抑えステッチをいれる。
裾口	身頃裾にはゴムを通し、コードロックで調節を出来るものとする。
胸ポケット	右は止水ファスナーを利用した斜め型切込ポケットがあり、左胸にはタテ型ファスナー開閉式のスルーポケットがあること。
両腰ポケット	前身頃には片玉縁ファスナー付き袋ポケットを両腰に取り付けること。
フード	フードはぶっつけの3枚接ぎで、面ファスナー開きの起毛地フード収納ポケットがあり、マチ後にタブ調節が可能なこと。 フードは折り畳み、起毛地フード収納ポケットに入れ、マジックテープを留めるとスタンドカラーとして着用できるものとする。
包装	外装袋に包装する。
シームテープ	全ての接合部、マイクフック裏などの防水性を要する縫目には防水シームテープを貼ってあること。
裏地	黒色アルミドットプリントを施した機能裏地と中綿とする。
片布	号数、調製、所属、氏名、納入者が管理できる内容を記載した片布を取り付ける。
品質表示	品質表示ラベルを取り付けること。
左胸プリント	「浜松市消防局」と当局指定文字にて銀色の反射プリントを入れる。
バックプリント	上段に「浜松市消防局」、下段に「HAMAMATSU FIRE DEPT.」と当局指定文字に銀色の反射プリントを入れる。
エンブレム台座	右袖指定位置に面テープのエンブレム台座を取り付ける。(エンブレム台座は消防総務課より支給)

第5 サイズ表 (単位：c m)

サイズ	着丈	胸囲	裾丈
S S	6 8	1 0 6	8 4
S	7 0	1 1 0	8 5
M	7 2	1 1 4	8 8
L	7 4	1 2 0	9 1
L L	7 6	1 2 6	9 4
3 L	8 0	1 3 2	9 6
4 L	8 3	1 4 3	9 7
5 L	8 3	1 5 3	9 7

第6 図面





第7 補則

- 1 仕様及び縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 きせかけによる出張採寸を行う場合は、消防総務課の指示に従うこと。
- 4 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 5 納品は糸くずなどを取り、丁寧にプレス仕上げをし、各個人ごとに1着ずつ袋に入れ納入すること。
- 6 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。